

電話／ファクス編

- 1 すぐに使えます …………… 74
- 2 電話のいろいろな使いかた ……… 81
- 3 ファクスのいろいろな使いかた・ 103
- 4 発信者番号の通知と表示 ……… 106
- 5 電話やファクスの呼び分け …… 114
- 6 転送／メッセージ録音 ……… 126
- 7 電話機からの設定 …………… 136

1 すぐに使えます

電話をかける／ファクスを送るには (発信)

本商品に電話機やファクスを接続するだけで、電話をかけたり、ファクスを送ることができます。同時に2つのアナログポートを使用できます。ただし、パソコンでBチャンネル1本を使用しているときは、電話機は1台しか使用できません。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツーン」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、話中音が聞こえます。



2 電話番号（最大32桁）を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに☎ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）



3 相手が出たら、お話しする。

ファクスの場合は、送信操作を行います。



4 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



📢 お知らせ

- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイマで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、☎ボタンによる発信、サブアドレスを追加した発信はできません。
- 続けて電話をご利用になる場合は、ハンドセットを約2秒以上置いてからダイヤルしてください。
- パソコンで2本のBチャンネルを使用しているときは、リソースBODを「発信／着信時に使用する」または「発信時に使用する」に設定していないと電話機やファクスは使用できません。（☛「参考情報」）



ワンポイント

- **発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイム）**
お買い求め時は 4 秒に設定されています。
TELで設定 (機能番号：74) (●P142)
PCで設定 (TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」) (●「参考情報」)
- **⊕ ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）**
お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを⊕ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「##で識別する」に設定を変更してください。
TELで設定 (機能番号：75) (●P142)
PCで設定 (TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」) (●「参考情報」)
- **サブアドレスを指定して電話をかけるには**
相手の電話番号を押したあとに、⊗ボタン、サブアドレス（最大 19 桁）を押します。
 <例> 0312345678 ⊗ 12345
 ↑ ↑
 電話番号 サブアドレス
- **受話音量を調節するには**
電話機の受話音量を「大」、「中」、「小」に調節できます。お買い求め時は「中」に設定されています。
TELで設定 (機能番号：17) (●P148)
PCで設定 (TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「その他」) (●「参考情報」)
- **ダイヤル式（DP）電話機をお使いの場合は（ダイヤル種別）**
ダイヤル種別を「DP 固定」に設定します。
TELで設定 (機能番号：18) (●P148)
PCで設定 (TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「その他」) (●「参考情報」)
- **発信を規制するには（発信規制）**
アナログポートに接続した電話機やファクスから、外へ電話をかけられないようにすることができます。「0 発信規制」、「外線発信規制」のどちらかを設定できます。
 0 発信規制：1 桁めに 0 がつく電話番号をダイヤルしたときは発信できません。
 外線発信規制：すべての外線発信ができません。
TELで設定 (機能番号：22) (●P148)
PCで設定 (TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 2」) (●「参考情報」)
 発信規制を設定した場合も、「110」、「118」、「119」へは電話をかけることができます。
- **アナログポートを使用しない場合は**
イーージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。(●P45)
TELで設定 (機能番号：08) (●P146)
PCで設定 (TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 2」) (●「参考情報」)

1 すぐに使えます

電話を受ける／ファクスを受けるには (着信)

アナログポートに接続した電話機で電話を受けたり、ファクスを受信することができます。ほかの1つのポートを使用中でも、着信を受けられます。2つのアナログポートの両方に電話機やファクスを接続している場合は、両方から着信音が鳴ります。

1 着信音が鳴る。



2 ハンドセットを取りあげて、相手とお話する。



3 お話が終わったら、ハンドセットを置く。



ワンポイント

- **ファクスに転送するには (内線転送) (P80)**
相手がファクスのときは、ハンドセットを取りあげると「ポー・ポー」という音が聞こえます。もう一方のアナログポートにファクスを接続している場合は、次の操作でファクスを受信することができます。
フッキングする→**(*)****(*)****(0)**を押す→ハンドセットを置く
- **着信音で相手を識別するには (INS なりわけサービス/疑似なりわけ)**
あらかじめ登録した相手からの着信は、通常と異なる着信音を鳴らすことができます。(P86)
- **着信音が鳴る電話機を指定するには (優先着信ポート指定)**
着信音を鳴らす電話機のアナログポートを指定することができます。(P81)
- **着信を拒否するには**
着信拒否を「する」に設定すると、発信専用でご利用になれます。アナログポートごとに設定できます。
TELで設定 (機能番号: 16) (P148)
PCで設定 (TEL1 ポート設定画面/TEL2 ポート設定画面「発信・着信2」) (P「参考情報」)
着信拒否を設定していても、内線からの呼び出しを受けることができます。また、TEL2 ポートの着信拒否を設定していても、FAX 自動転送 (P103) は着信します。
- **アナログポートを使用しない場合は**
イーージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で接続機器を「接続しない」に設定します。(P45)
TELで設定 (機能番号: 08) (P146)
PCで設定 (TEL1 ポート設定画面/TEL2 ポート設定画面「発信・着信2」) (P「参考情報」)
- **特定の電話番号からの着信を拒否するには (迷惑電話防止)**
あらかじめ登録した電話番号からの着信を拒否することができます。(P90)



1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファクスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定



お知らせ

- パソコンで2本のBチャンネルを使用しているときは、リソースBODを「発信／着信時に使用する」または「着信時に使用する」に設定しないと電話機やファクスは使用できません。(☛「参考情報」)

1 すぐに使えます

内線でお話しするには (内線通話)

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、内線でお話しすることができます。本商品をINSネット64に接続していなくても内線通話は利用できます。
ダイヤル式(DP)の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。
INSネット64回線に接続していない場合は、話中音が聞こえます。



2 フッキングする。

「プッププッ…」という音が聞こえます。
20秒以内に手順3の操作を行ってください。
20秒過ぎると、話中音が聞こえます。

3 * * 0 を押す。

「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえます。



4 呼び出された方が出たら、お話しする。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いのいろいろ

3
いろいろな使いのいろいろ

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送／
メッセージ録音

7
電話機からの
設定



ワンポイント

● フッキングとは

電話機のフックスイッチを押すことです。フックスイッチを押し続けると、電話が切れることがあります。コードレスホンや多機能電話機などをお使いのときは、キャッチボタン（またはフックボタン、フラッシュボタンなど）を押します。



● フッキングの長さを設定するには（フッキング検出タイマ）

フッキングの長さを「短い」、「普通」、「長い」のいずれかに設定することができます。お買い求め時は「普通」に設定されています。

TELで設定（機能番号：73）（☛P142）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● 内線着信の発信者番号を表示するには（内線着信ナンバー・ディスプレイ）

ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を「する」に設定しているときは、TEL1ポートからの発信は「001」、TEL2ポートからの発信は「002」と通知されます。

TELで設定（機能番号：10）（☛P146）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」）（☛「参考情報」）

● 内線の呼出音を変えるには（内線呼出信号設定）

お買い求め時は「ブルブル、ブルブル…」（呼出信号2）に設定されています。「ブルルル、ブルルル…」（呼出信号1）に変更することができます。

TELで設定（機能番号：15）（☛P148）

PCで設定（TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「その他」）（☛「参考情報」）

● 内線でお話中に電話がかかってきたときは

INSキャッチホンまたは疑似キャッチホンをご利用になると、かかってきた電話に出ることができます。（☛P82）

● 内線機能を停止するには

内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への発信を停止することができます。

TELで設定（機能番号：64）（☛P140）

PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）



お知らせ

- 手順3で④⑤⑥以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- ナンバー・ディスプレイ対応の電話機をお使いの場合は、呼出音が鳴るまでにしばらく時間がかかることがあります。
- 接続機器を「接続しない」に設定したアナログポートでは、内線機能をご利用になれません。

1 すぐに使えます

外からの電話を取りつぐには (内線転送)

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合は、外の方とお話中に、もう一方の電話機に転送することができます。
ダイヤル式 (DP) の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

1 お話中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブツブツ…」という音が聞こえます。
この段階では外の相手には何も聞こえません。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒過ぎると、外の相手との通話に戻ります。



2 * * 0 を押す。

「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえます。
外の相手には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が聞こえます。



3 呼び出された方が応答したら、転送することを伝える。



4 ハンドセットを置く。



ワンポイント

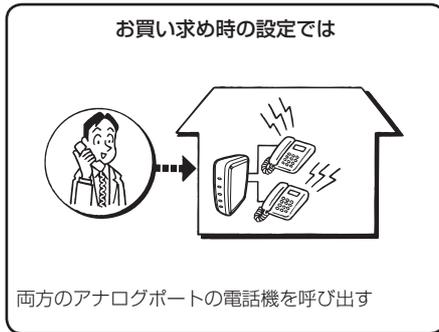
- フッキングとは (P79)
- 内線で呼び出す音を変えるには (内線呼出信号設定) (P79)
- 内線機能を停止するには
内線機能を「使用しない」に設定すると、内線への転送を停止することができます。
PCで設定 (機能番号: 64) (P140)
TELで設定 (TEL1・2ポート共通設定画面「その他」) (「参考情報」)
- 転送を取りやめるには
手順1でフッキングしてからハンドセットを置きます。着信音が鳴ってからハンドセットを取りあげると、保留にしていた方もう一度お話しできます。
- 相手が応答しなかったときは
フッキングすると、外の相手とのお話しに戻ることができます。
- 相手が応答する前に転送するには
手順2の呼出中に受話器を置くと相手が応答する前に転送することができます。

お知らせ

- 手順2で * * 0 以外のボタンを押すと、話中音が聞こえます。
- 内線でお話ししないでハンドセットを置いた場合は、呼び出された方が応答しないと約30秒後に電話が切れます。

着信音が鳴る電話機を指定するには (優先着信ポート指定) 設定

2つのアナログポートにそれぞれ電話機を接続している場合、お買い求め時の設定では電話がかかってくると、両方の電話機を呼び出します。優先着信ポートを指定すると、一方のアナログポートを優先的に呼び出すことができます。



● 必要な設定

優先的に着信させるアナログポートを指定します。

機能	TELで設定 (●P140)	PCで設定 (●「参考情報」)	設定内容
優先着信ポート指定	機能番号：62	TEL1・2ポート共通 設定画面「その他」	「TEL1ポート」または「TEL2ポート」を選択する 「TEL1ポート」: TEL1ポートを優先的に呼び出す 「TEL2ポート」: TEL2ポートを優先的に呼び出す 「指定しない」: TEL1ポートとTEL2ポートを呼び出す

ワンポイント

● INS キャッチホンまたは疑似キャッチホン (●P82) を利用しているときは

キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
いろいろな使いかたのファックス

4
発信番号表示の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

2 電話のいろいろな使いかた

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INS キャッチホン／疑似キャッチホン)

外の方とお話し中に電話がかかってきたとき、お話し中の方を保留にして、あとからかかってきた電話に出ることができます。

INS キャッチホンと疑似キャッチホンの2つの方法があります。

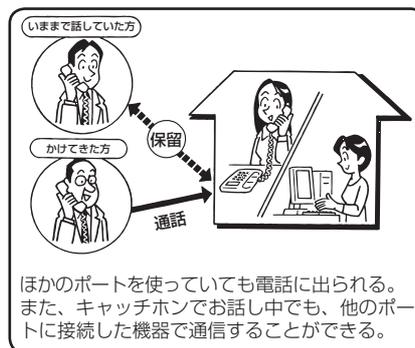
INS キャッチホン



設定

お話し中で、かつほかのポートを使用中でも、かかってきた電話に出ることができます。

- **必要な契約**
INS キャッチホンの契約（有料）が必要です。
- **必要な設定**
INS キャッチホンをご利用になるアナログポートごとにキャッチホンの設定が必要です。



INS キャッチホンを設定する

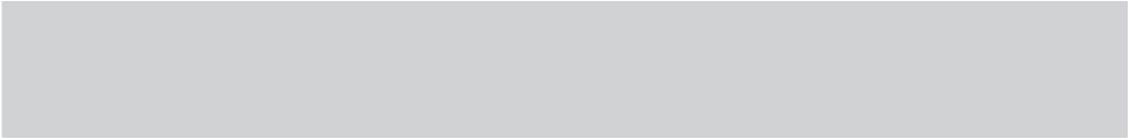
TELで設定 (P144)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→*→*→*→設定する TEL ポートの番号 (①または②)
→①②→*→②→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イーージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(P45)



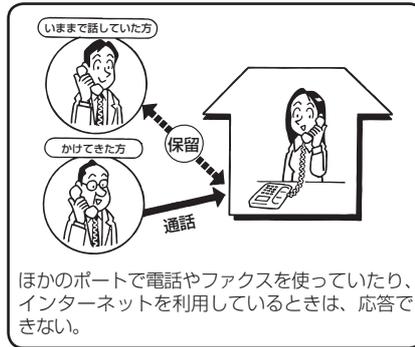
疑似キャッチホン

設定

お話し中でも、かかってきた電話に出ることができます。

● 必要な設定

疑似キャッチホンをご利用になるアナログポートごとに疑似キャッチホンの設定が必要です。



疑似キャッチホンを設定する

TELで設定 (P144)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→* * * →設定する TEL ポートの番号 (①または②)
→ ① ② → * → ① → # →ハンドセットを置く

PCで設定

イーザーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(P45)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
ファクスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

お話し中にかかってきた電話を受けるには (INS キャッチホン／疑似キャッチホン)

お話し中にかかってきた電話に出る

- 1 外の相手とお話し中に「ブツッ、ブツッ…」という着信音が聞こえる。



- 2 相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

あとからかけてきた方に切り替わります。



- 3 あとからかけてきた方とお話する。
疑似キャッチホンの場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。
INS キャッチホンの場合、最初に話していた方には保留メロディが流れます。



- 4 最初に話していた方とお話するには、もう一度フッキングする。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファクスの
いろいろな
使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファクス
の呼び分け

6
転送／
メッセージ録音

7
電話機からの
設定



ワンポイント

- フッキングとは (☞P79)
- 両方のアナログポートに電話機を接続しているときは
キャッチホンを設定したアナログポートの電話機でお話中に電話がかかってくると、キャッチホンでお知らせすると同時に、もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴ります。もう一方のアナログポートの電話機の着信音が鳴らないようにするには、キャッチホンを設定しているアナログポートを優先着信ポートに指定します。(☞P81)
- INS キャッチホンまたは疑似キャッチホン中にハンドセットを置くと
着信音が鳴ります。ハンドセットを取りあげると、保留にしていた相手とお話ができます。
- 特定の相手からの着信のみキャッチホンを可能にするには (通信中着信識別通知)
通信中着信識別通知を利用すると、登録されている相手からの着信のみ、通話中に電話がかかってきたことを知らせるようにすることができます。(☞P89)



お知らせ

- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 次の場合は、INS キャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。
 - ・ 接続機器の設定が「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」で、かつHLC（高位レイヤ整合性）設定が「する」になっているとき
 - ・ 相手の高位レイヤ整合性が「G2 / G3 ファクス」になっているとき
- FAX自動転送を「する」に設定しているときは、TEL2ポートではINSキャッチホン、疑似キャッチホンをご利用になれません。(☞P103)
- 他のアナログポートでフレックスホン (☞P18) のいずれかの機能を利用しているときは、INSキャッチホンをご利用になれません。
- INSキャッチホンの場合、三者通話と通信中転送の設定のいずれかが「使用する」のときは、手順4でフッキングすると「ブブブッ…」という音が聞こえたあと、最初に話していた方とお話ができます。
- 通信中着信通知サービス (☞P18) をご契約していて、両方のアナログポートにINSキャッチホンを設定している場合、両方のアナログポートに接続した電話機でお話中に電話がかかってきたときは、TEL1ポートに接続した電話機から「ブブブッ、ブブブッ…」という着信音が聞こえます。
- 疑似キャッチホンのご利用には、INSネット64の付加サービス契約は必要ありません。
- 疑似キャッチホンはBチャンネル2本を使用するため、以下の制限があります。
 - ・ 2つのアナログポートで同時に利用できません。
 - ・ Bチャンネル2本を同時に使用しているときは利用できません。
 - ・ お話中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。
 - ・ 新たな着信があった場合、フッキングしても応答できません。

特定の相手からかかってきた電話を識別するには (INS なりわけサービス/疑似なりわけ)

あらかじめ登録した電話番号からの電話は、電話機の着信音を変えてお知らせします。登録していない電話番号からの電話は、通常の着信音を鳴らすか、受け付けないようにするかを選択できます。なりわけには、INS なりわけサービスと疑似なりわけの2つの方法があります。



INS なりわけサービス



相手が通知してきた発信者番号を、当社の交換機に登録された電話番号リストと照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。すべての着信が識別されます。

● 必要な契約

INS なりわけサービスの契約（有料）が必要です。識別する電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。契約者回線番号および追加番号ごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

● 必要な設定

INS なりわけサービスを利用するアナログポートごとに、INS なりわけの設定、なりわけ動作の選択が必要です。

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS なりわけサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
INS なりわけ	機能番号：05 (☛P146)	TEL1 ポート設定画面/ TEL2 ポート設定画面「なりわけ」(☛「参考情報」)	「する」を設定する
なりわけ動作設定	機能番号：07 (☛P146)	TEL1 ポート設定画面/ TEL2 ポート設定画面「なりわけ」 (☛「参考情報」)	次のどちらかを選択する 「識別リング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる（お買い求め時の設定） 「セキュリティ（着信拒否）」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない
発信者番号（i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合のみ）	機能番号：20 (☛P148)	TEL1 ポート設定画面/ TEL2 ポート設定画面「発信・着信1」 (☛「参考情報」)	INS なりわけサービスを契約している電話番号（最大32桁）を入力する

ワンポイント

● INS なりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには

INS なりわけサービスを契約し、INS なりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INS なりわけサービスは1つの番号（契約者回線番号／追加番号）につき最大10件、疑似なりわけは1つのアナログポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大20件なりわけられます。

● お知らせ

- INS なりわけサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。

● お願い

- i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS なりわけサービスを契約した電話番号を必ず発信者番号に設定してください。

疑似なりわけ



相手が通知してきた発信者番号を疑似なりわけ番号と照合し、識別対象の電話番号かどうかを判断します。

● 必要な契約

一般の電話回線からの電話を識別するには、INS ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

疑似なりわけを利用するアナログポートごとに、疑似なりわけの設定、なりわけ動作の選択、疑似なりわけ番号の登録が必要です。

アナログポートごとに、最大10件の電話番号を登録できます。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ	機能番号：06 (☛P146)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面「なりわけ」(☛「参考情報」)	「する」を設定する
なりわけ動作設定	機能番号：07 (☛P146)	TEL1ポート設定画面／ TEL2ポート設定画面「なりわけ」(☛「参考情報」)	次のどちらかを選択する 「識別リング」 ：登録していない相手からの電話は、通常の着信音で知らせる(お買い求め時の設定) 「セキュリティ(着信拒否)」 ：登録していない相手からの電話は、受け付けない

(次ページへ続きます)

特定の相手からかかってきた電話を識別するには (INS なりわけサービス/疑似なりわけ)

(前ページの続きです)

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
疑似なりわけ番号	機能番号：90～99 (☛P152)	TEL1ポート設定画面/TEL2ポート設定画面「なりわけ」(☛「参考情報」)	識別する電話番号(最大32桁)を市外局番から入力する サブアドレス(最大19桁)も登録できる



ワンポイント

- 相手が発信者番号を通知しないでかけてきたときは
疑似なりわけを設定していても、電話番号の識別はできません。なりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リングング	セキュリティ(着信拒否)
通常の着信音が鳴る(ブルブル、ブルブル…)	電話を受け付けない

- INS なりわけサービスと疑似なりわけの両方の機能を利用するには
INS なりわけサービスを契約し、INS なりわけと疑似なりわけをどちらも「する」に設定します。INS なりわけサービスは、1つの番号(契約者回線番号/追加番号)につき最大10件、疑似なりわけは、1つのポートにつき最大10件の番号を登録できるので、両方利用すると、最大20件なりわけられます。



お知らせ

- 「110」、「118」、「119」を疑似なりわけ番号として登録しても、設定は無効になります。着信音を変えたり、着信を拒否することはできません。
- アナログ通信機器によっては、電話機の着信音を変えてお知らせすることができない場合があります。
- 疑似なりわけ番号にサブアドレスを登録したときは、疑似なりわけ番号と、INS ネット64から送られてくる発信者番号/サブアドレスが一致すると識別されます。

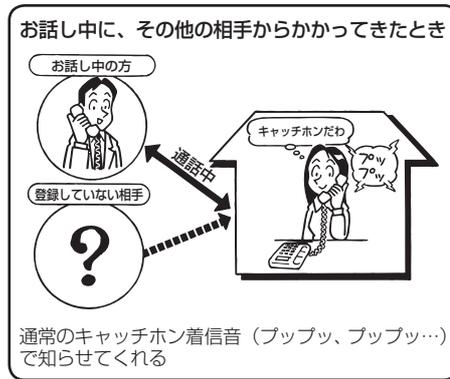
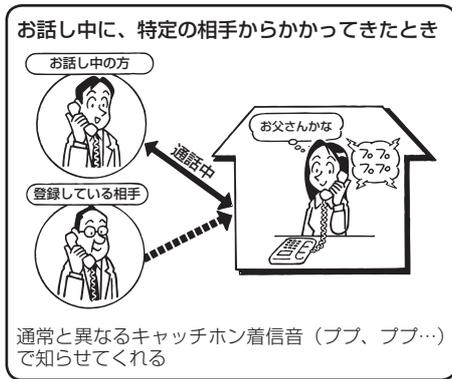
2 電話のいろいろな使いかた

お話し中に特定の相手からかかってきた電話を識別するには (通信中着信識別通知)



なりわけ (INS なりわけサービスまたは疑似なりわけ) と、キャッチホン (INS キャッチホンまたは疑似キャッチホン) の機能を組み合わせて利用することができます。

外線または内線でお話し中に、あらかじめ登録した電話番号から電話がかかってきたとき、通常とは異なるキャッチホン着信音 (プブ、プブ…) でお知らせします。



● 必要な契約

INS なりわけサービスと INS キャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約 (有料) が必要です。
INS なりわけサービスと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INS なりわけサービスの契約 (有料) が必要です。
疑似なりわけと INS キャッチホンを組み合わせる場合は、INS キャッチホンの契約 (有料) が必要です。

● 必要な設定

「なりわけ」と「キャッチホン」の設定を行います。なりわけ動作の設定は「識別リングング」を選択してください。

INS キャッチホン/疑似キャッチホン (☛P82、83)

INS なりわけサービス/疑似なりわけ (☛P86、87)

TELで設定 (☛P144、146、152)

PCで設定 (☛「参考情報」)



ワンポイント

- お話し中に、登録していない相手から電話がかかってきたときはなりわけ動作設定によって、次のようになります。

識別リングング	セキュリティ (着信拒否)
通常のキャッチホンでお知らせする (プブッ、プブッ…)	電話を受け付けない

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信番号表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 メッセージ転送/録音

7 電話機からの設定

2 電話のいろいろな使いかた

特定の相手からかかってきた電話の着信を拒否するには(迷惑電話防止)



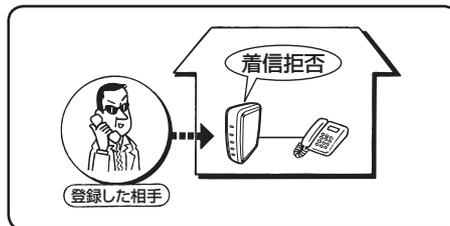
着信履歴に残っている相手の電話番号を迷惑電話番号として登録すると、相手が通知してきた発信者番号と照合して、一致したときは自動的に拒否することができます。このとき、相手には話中音が聞こえます。迷惑電話番号は、最大 20 件まで登録できます。電話番号が通知されない「非通知」の電話を拒否することもできます。

● 必要な契約

番号を通知してくるのは、INS ネット 64、携帯電話機、PHS 対応電話機からの着信です。一般の電話回線からかかってくる迷惑電話を防止するには、INS ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

迷惑電話を切った直後にその番号を登録する方法、あらかじめ迷惑電話番号を登録しておく方法があります。また、非通知の電話を着信拒否するかどうかを設定することもできます。



迷惑電話を切った直後に設定する

迷惑電話を切った直後に電話機で以下の操作を行うと、直前の電話の相手の番号が迷惑電話番号として登録され、迷惑電話防止をセットすることができます。キャッチホン（☎P82）で、お話し中にかかってきた電話に出た場合は、迷惑電話番号として登録できません。

TELで設定

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取り上げる→フッキング→*→*①⑧④（「プップ」という確認音が聞こえ、設定されます）→ハンドセットを置く

あらかじめ設定しておく

迷惑電話番号をあらかじめ設定しておくときは、以下の操作を行います。

TELで設定（☎P140）

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取り上げる→*①⑧④→①⑧④→*→電話番号（最大 32 桁）→#→ハンドセットを置く

PCで設定

機能	PCで設定（☎「参考情報」）	設定内容
迷惑電話防止電話番号	TEL1・2 ポート共通設定画面「迷惑電話防止」	[着信履歴] の [この番号を登録] をクリックして電話番号を登録する

1
すぐに使えます



ワンポイント

● 迷惑電話番号を解除するには

迷惑電話番号を解除すると、登録している電話番号すべてがクリアされます。

TELで設定 ハンドセットを取りあげる→[*][*][*]→0→67→[*]→#→ハンドセットを置く

PCで設定 TEL1・2 ポート共通設定画面「迷惑電話防止」(☛「参考情報」)

2
電話のいろいろ
な使いかた



お知らせ

- 迷惑電話防止機能を便利に利用するためには、INS ナンバー・ディスプレイの契約が必要です。
- もう一方のアナログポートに接続した電話機で設定を行っているときは、迷惑電話番号を登録することはできません。
- データポートへの着信に対して、着信拒否を設定することはできません。
- 「110」、「118」、「119」を迷惑電話防止電話番号として登録しても、設定は無効になります。着信を拒否することはできません。

3
ファクスのいろいろ
な使いかた

非通知の着信拒否を設定する

電話番号が通知されない着信を拒否することができます。

TELで設定 (☛P140)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取りあげる→[*][*][*]→0→66→[*]→0→#→ハンドセットを置く

PCで設定

4
発信番号
の表示

5
電話やファクス
の呼び分け

機能	PCで設定(☛「参考情報」)	設定内容
非通知拒否	TEL1・2 ポート共通設定画面「迷惑電話防止」	非通知の着信拒否をする場合は、「拒否する」をチェックする

6
転送/
メッセージ録音



お知らせ

- 非通知拒否を「拒否する」に設定すると、次の着信を拒否します。
 - ・ INS ナンバー・ディスプレイの契約をしていない場合に一般の電話回線から着信したとき
 - ・ 公衆電話からかかってきたとき
 - ・ 相手が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
 - ・ INS ナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき、またはサービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

7
電話機
からの
設定

3 人でお話しするには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

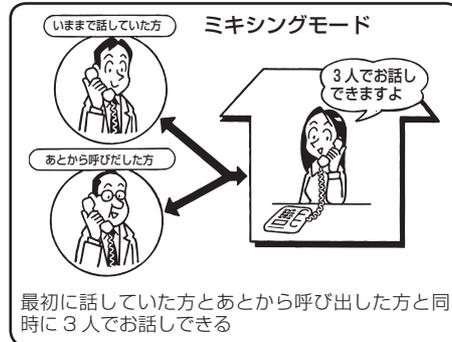
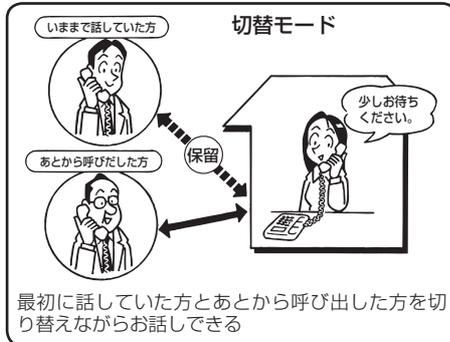
外の相手とお話し中に、お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3 人でお話しすることができます。
フレックスホンの三者通話、疑似三者通話の 2 つの方法があります。

フレックスホン三者通話 (切替モード／ミキシングモード)



設定

お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3 人でお話しできます。ほかのポートを使用中でも、三者通話ができます。
最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、同時に 3 人でお話しする「ミキシングモード」があります。



● **必要な契約**

フレックスホンの三者通話機能の契約 (有料) が必要です。

● **必要な設定**

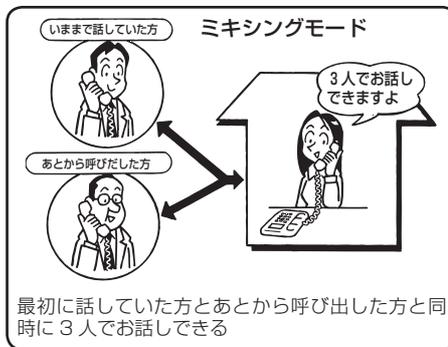
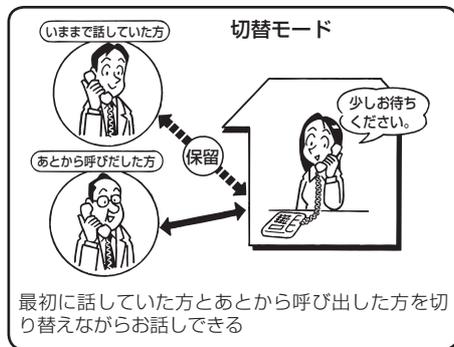
三者通話の設定が必要です。

機能	TELで設定 (P138)	PCで設定 (「参考情報」)	設定内容
三者通話	機能番号 : 50	TEL1・2ポート共通 設定画面「三者通話・ 通信中転送」	「三者通話する」を選択する

疑似三者通話（切替モード／ミキシングモード）

設定

お話しを保留にして、別の相手に電話をかけ、3人でお話しできます。ほかのポートが空いているときに三者通話ができます。
最初に話していた方とあとから呼び出した方を切り替えながらお話しする「切替モード」、3人同時にお話しする「ミキシングモード」があります。



● 必要な設定

疑似三者通話の設定が必要です。

機能	TELで設定 (☞P138)	PCで設定 (☞「参考情報」)	設定内容
三者通話	機能番号：50	TEL1・2ポート共通 設定画面「三者通話・ 通信中転送」	「疑似三者通話する」を選択する

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファックスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファックス
の呼び分け

6
転送／
メッセージ録音

7
電話機からの
設定

(次ページへ続きます)

3 人でお話するには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

(前ページの続きです)

相手を切り替えてお話しする(切替モード)

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブブブブ…」という発信音が聞こえます。この段階では外の相手には何も聞こえません。20秒以内に手順2の操作を行ってください。20秒を過ぎると、最初に話していた方との話しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。(ダイヤル桁間タイム)
電話番号のあとに☎ボタンを押すと、すぐに発信します。(ダイヤル終了識別)
疑似三者通話の場合、最初に話していた方には、「ピーピー、ピーピー…」という保留音が流れます。
フレックスホン三者通話の場合、最初に話していた方には、保留メロディが流れます。



3 相手が出たら、お話しする。



4 お話しする相手を切り替えるには、フッキングする。

フレックスホン三者通話の場合、「ブブブブ…」という発信音が聞こえたあと、約4秒後に別の相手に切り替わります。(話者切替タイム)

5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



3人で同時にお話する(ミキシングモード)

フレックスホン三者通話、疑似三者通話に共通の操作です。

1 お話し中に、外の相手に待っていただけのように伝え、フッキングする。

「プッププッ…」という発信音が聞こえます。この段階では外の相手には何も聞こえません。20秒以内に手順2の操作を行ってください。20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。(ダイヤル桁間タイム)
電話番号のあとに☎ボタンを押すと、すぐに発信します。(ダイヤル終了識別)



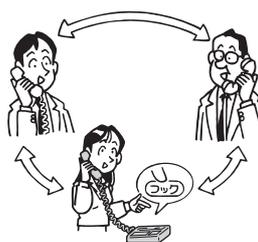
3 相手が出たら、三者通話にすることを伝え、フッキングする。

「プッププッ…」という発信音が聞こえます。4秒以内に手順4の操作を行ってください。約4秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。(話者切替タイム)



4 1回フッキングする。

最初に話していた方とつながり、3人でお話しできます。お話し中に一方が電話を切っても、もう一方との通話は継続できます。



5 お話しが終わったら、ハンドセットを置く。



(次ページへ続きます)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

4
発信番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

3 人でお話しするには (フレックスホン三者通話／疑似三者通話)

(前ページの続きです)

ワンポイント

- 発信するまでの時間を変更するには (ダイヤル桁間タイム)
お買い求め時は 4 秒に設定されています。
TELで設定 (機能番号: 74) (☛P142)
PCで設定 (TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」) (☛「参考情報」)
-  ボタンをダイヤルとして使用するには (ダイヤル終了識別)
お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを  ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「##で識別する」に設定を変更してください。
TELで設定 (機能番号: 75) (☛P142)
PCで設定 (TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」) (☛「参考情報」)
- フッキングとは (☛P79)
- 相手を切り替えるまでの時間を変更するには (話者切替タイム)
お買い求め時は 4 秒に設定されています。
TELで設定 (機能番号: 72) (☛P140)
PCで設定 (TEL1・2 ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」) (☛「参考情報」)
- 三者通話のモードを変えるには
次の操作でモードを変えることができます。
・切替モードからミキシングモードへ
1 対 1 でお話中にフッキングして、「プップッ…」という音が聞こえたら、もう一度フッキングします。
・ミキシングモードから切替モードへ
3 人でお話中にフッキングします。「プップッ…」という音が聞こえたあと、前の相手に切り替わります。
- 三者通話 (切替モード) 中にハンドセットを置くと
着信音が鳴ります。ハンドセットを取り上げると、保留にしていた方とお話しできます。

お知らせ

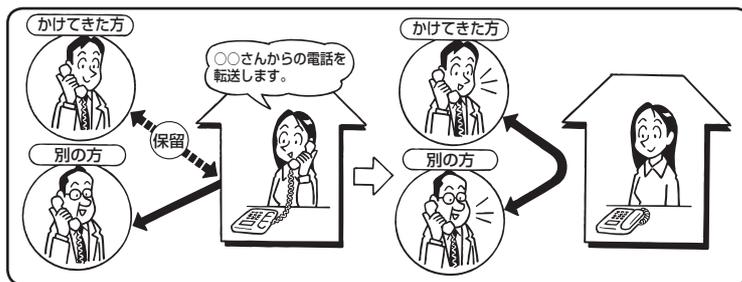
- 三者通話の料金は、それぞれの発信を行った方に通話料金がかかります。
- 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン (☛P18) の三者通話をご利用になれません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 三者通話 (ミキシングモード) 中にハンドセットを置くと、両方の相手との電話が切れます。
- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイムで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- ダイヤル式 (DP) の電話機をお使いの場合は、 ボタンによる発信はできません。
- ミキシングモードから切替モードにするためにフッキングすると、「プップッ…」という音が聞こえます。このとき、ハンドセットを置くと着信音が鳴ります。ハンドセットを取り上げるとミキシングモードに戻りますが、フレックスホンの三者通話をご利用の場合に、通信中転送 (☛P97) の設定が「使用する」になっているときは、電話が転送される場合があります。
- 疑似三者通話と通信中転送 (☛P97) を同時に設定した場合は、通信中転送が優先され、疑似三者通話 (ミキシングモード) はご利用になれない場合があります。
- 疑似三者通話は B チャンネル 2 本を同時に使用するため、以下の制限があります。
 - ・2 つのアナログポートで同時に利用できません。
 - ・B チャンネル 2 本を同時に利用しているときは利用できません。
 - ・お話し中は、本商品に接続した他の機器では通信できません。

2 電話のいろいろな使いかた

お話し中の電話を別の電話番号へ転送するには（通信中転送）



外の相手からかかってきた電話を保留にして、別の電話番号へ転送することができます。
あとから呼び出した方が応答する前に転送する方法、応答してから転送する方法があります。



- **必要な契約**
フレックスホンの通信中転送（有料）の契約が必要です。
- **必要な設定**
通信中転送の設定が必要です。

機能	TELで設定 (P138)	PCで設定 (「参考情報」)	設定内容
通信中転送	機能番号：51	TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」	「使用する」を設定する

お話し中に転送する

1 お話し中に、外の相手に待っていただくように伝え、フッキングする。

「ブブブブッ…」という発信音が聞こえます。
20秒以内に手順2の操作を行ってください。
20秒を過ぎると、最初に話していた方とのお話しに戻ります。



2 別の相手の電話番号を押す。

最後の番号を押したあと、約4秒後に発信します。（ダイヤル桁間タイマ）
電話番号のあとに☎ボタンを押すと、すぐに発信します。（ダイヤル終了識別）
呼び出した方とお話ししないで転送する場合は、「ブルブル、ブルブル…」という呼出音が聞こえている間に、ハンドセットを置きます。



(次ページへ続きます)

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

お話し中の電話を別の電話番号 へ転送するには（通信中転送）



（前ページの続きです）

3 相手が出たら、転送することを伝え、フッキングする。

「ブップブップ…」という発信音が聞こえます。4秒以内に手順4の操作を行ってください。4秒を過ぎると、最初に話していた方とお話しに戻ります。（話者切替タイム）



4 ハンドセットを置く。

転送が完了しました。



ワンポイント

- フッキングとは（☛P79）
- 発信するまでの時間を変更するには（ダイヤル桁間タイム）
お買い求め時は4秒に設定されています。
 - TELで設定（機能番号：74）（☛P142）
 - PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）
- Ⓜ ボタンをダイヤルとして使用するには（ダイヤル終了識別）
お買い求め時は、ダイヤルが終了したことを Ⓜ ボタンを押して識別するように設定されています。「識別しない」または「##で識別する」に設定を変更してください。
 - TELで設定（機能番号：75）（☛P142）
 - PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「その他」）（☛「参考情報」）
- 相手を切り替えるまでの時間を変更するには（話者切替タイム）
お買い求め時は4秒に設定されています。
 - TELで設定（機能番号：72）（☛P140）
 - PCで設定（TEL1・2ポート共通設定画面「三者通話・通信中転送」）（☛「参考情報」）
- 通信中転送を中止するには
ハンドセットを置きます。着信音が鳴るので、もう一度ハンドセットを取りあげると、最初に話していた方とお話しできます。



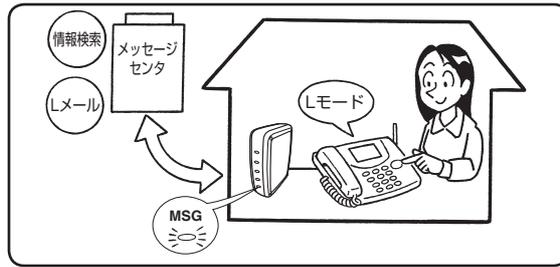
お知らせ

- 他のアナログポートでフレックスホンのいずれかを利用しているときは、フレックスホン（☛P18）の通信中転送をご利用になれません。
- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- こちらからかけた電話を転送することはできません。
- 電話番号をダイヤルするときに、桁と桁の間でダイヤル桁間タイムで設定している間隔を空けると、ダイヤルの途中でも発信を始めてしまいます。
- 通信中転送と疑似三者通話（☛P93）を同時に設定した場合は、疑似三者通話（ミキシングモード）はご利用にならない場合があります。
- ダイヤル式（DP）の電話機をお使いの場合は、Ⓜ ボタンによる発信はできません。

Lモードを利用するには



本商品は、Lモードに対応した電話機を接続してご利用になれます。Lメールがセンタに届いたときに、Lモード対応アナログ通信機器のディスプレイに表示させたり、本商品のMSGランプを点灯させたりすることができます。



● **必要な契約**

Lモードの契約（有料）が必要です。

● **必要な設定**

MSGランプ設定（Lモード関連）またはメッセージあり情報通知（Lモード関連）の設定が必要です。また、Lモードをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。Lモードに対応したアナログ通信機器が必要です。

・ **本商品のMSGランプを点灯させる場合**

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSGランプ設定 (Lモード関連)	機能番号：76 (☛P142)	TEL1・2ポート共通設定画面「メッセージ表示（Lモード関連）」(☛「参考情報」)	「メッセージあり状態表示をする」を設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P148)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛「参考情報」)	Lモードを契約した電話番号を入力する

・ **アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合**

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	機能番号：09 (☛P146)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」(☛「参考情報」)	「メッセージあり情報通知する」を設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P148)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛「参考情報」)	Lモードを契約した電話番号を入力する
接続機器設定	機能番号：01 (☛P144)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」(☛「参考情報」)	「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」を選択する

(次ページへ続きます)

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファクスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファクスの呼び分け

6 メッセージ転送／メッセージ録音

7 電話機からの設定



(前ページの続きです)



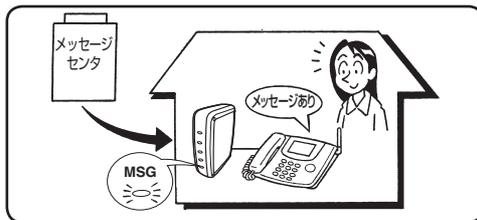
お知らせ

- メッセージあり情報通知 (P101) を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- オプションのS/TユニットのS/T端子に他のINSネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- Lモードを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。
- MSGランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- Lモードで使用するメッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン (P120) を同時に利用することはできません。
- MSGランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSGランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- Lモード対応アナログ通信機器の設定、およびメッセージの表示例については、アナログ通信機器の取扱説明書をご覧ください。
- Lモードについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
※「Lモード」サービスは、平成22年3月31日をもってサービス提供を終了しています。

INS メッセージ到着お知らせサービスを利用するには



本商品では、INS ネット 64 の INS メッセージ到着お知らせサービスをご利用になれます。メッセージがメッセージセンタに届いたときに、本商品の MSG ランプを点灯させたり、INS メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器に表示させることができます。



● **必要な契約**

INS メッセージ到着お知らせサービスの契約（有料）が必要です。

● **必要な設定**

MSG ランプ設定（L モード関連）またはメッセージあり情報通知（L モード関連）の設定が必要です。また、INS メッセージ到着お知らせサービスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。

INS メッセージ到着お知らせサービスに対応したアナログ通信機器が必要です。

・ **本商品の MSG ランプを点灯させる場合**

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
MSG ランプ設定 (L モード関連)	機能番号：76 (☛P142)	TEL1・2ポート共通設定画面「メッセージ表示（Lモード関連）」(☛「参考情報」)	「メッセージあり状態表示をする」を設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P148)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛「参考情報」)	INS メッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する

・ **アナログポートに接続した電話機等に通知させる場合**

通知させるアナログポートごとに、メッセージあり情報通知の設定、接続機器設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
メッセージあり情報通知 (Lモード関連)	機能番号：09 (☛P146)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」(☛「参考情報」)	「する」を選択する
発信者番号	機能番号：20 (☛P148)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」(☛「参考情報」)	INS メッセージ到着お知らせサービスを契約した電話番号を入力する
接続機器設定	機能番号：01 (☛P144)	TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信2」(☛「参考情報」)	「ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機」を選択する

(次ページへ続きます)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
いろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定



(前ページの続きです)



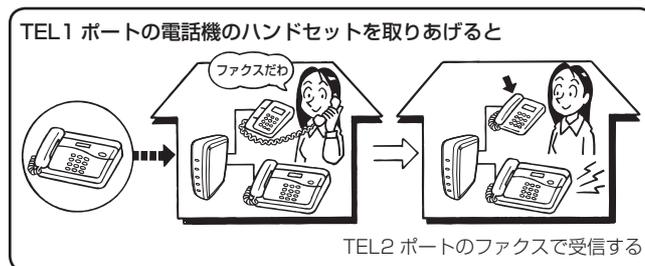
お知らせ

- メッセージあり情報通知を設定したアナログポートの発信者番号と着信する番号は、同じに設定してください。
- オプションのS/TユニットのS/T端子に他のINS ネット64用通信機器が接続されている場合には、メッセージあり情報が正しく表示されないことがあります。
- INS メッセージ到着お知らせサービスを利用できる電話番号は、各アナログポートに1つのみです。
- MSG ランプ設定と、メッセージあり情報通知の両方を「する」に設定した場合、本商品のランプ表示とアナログ通信機器の表示が一致しない場合があります。
- メッセージあり情報通知とモデムダイヤルイン (●P120) を同時に利用することはできません。
- MSG ランプは、すべてのメッセージセンタからのメッセージ消去情報を受信するまで表示されます。
- 乾電池を抜いた状態で本商品の電源アダプタを抜き差しすると、メッセージセンタにメッセージがあっても、MSG ランプは消灯します。
- 本商品のランプ表示、アナログ通信機器の表示、メッセージセンタの情報は、一致しない場合があります。
- INS メッセージ到着お知らせサービスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
※「INS メッセージ到着お知らせサービス」は、平成26年2月28日をもってサービス提供を終了しています。

3 ファクスのいろいろな使いかた

ファクスを自動転送するには (FAX 自動転送) 設定

TEL1 ポートに電話機、TEL2 ポートにファクスを接続している場合は、相手がファクスのとき、電話機のハンドセットを取りあげると、自動的にファクスに転送することができます。



● 必要な設定

電話機を TEL1 ポート、ファクスを TEL2 ポートに接続します。
FAX 自動転送の設定が必要です。

	TELで設定 (P140)	PCで設定 (「参考情報」)	設定内容
FAX 自動転送	機能番号： 65	TEL1・2ポート共通 設定画面「その他」	「する」を選択する

電話機からファクスへ自動転送する

1 電話機の着信音が鳴る。



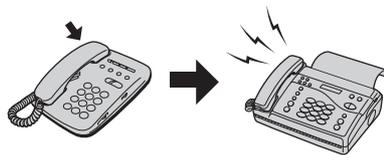
2 ハンドセットを取りあげる。

相手がファクスのときは、「ポーポー…」という音が聞こえ、TEL2 ポートのファクスへ自動転送されます。



3 「ブーブー…」という話中音が聞こえたら、ハンドセットを置く。

ファクスの着信音が鳴ったあと、ファクスを受信します。



(次ページへ続きます)

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな

3 ファクスのいろいろな

4 発信番号の通知と表示

5 電話やファクスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定



(前ページの続きです)



ワンポイント

● **ファクスの着信音を鳴らさずに受信するには**

TEL2 ポートの FAX 無鳴動着信を「する」に設定すると、着信音を鳴らさずにファクスを受信することができます。(●P105)



お知らせ

- TEL1 ポートにファクス、TEL2 ポートに電話機を接続した場合、ファクスの自動転送はできません。
- TEL2 ポートが使用中の場合、または TEL1 ポートでお話中にキャッチホンで応答した場合は、自動転送されません。
- 「プープー…」という話中音が聞こえる前にハンドセットを置くと、自動転送されないことがあります。
- TEL2 ポートに接続したファクスが約 30 秒間応答しないと、自動転送を中止して、通信を切断します。このとき、相手には通話料金がかかります。
- TEL2 ポートのファクスに自動転送した場合は、転送先のファクスにはナンバー・ディスプレイの発信者番号およびモデムダイヤルインの着信番号は通知されません。
- FAX 自動転送を「する」に設定すると、TEL2 ポートではキャッチホンはご利用になれません。
- 相手がファクス以外でも、相手先の音声の状態により、まれに自動転送されることがあります。
- 相手からファクス信号が送られていても、まれに自動転送されないことがあります。この場合は、内線転送による手動転送を行ってください。(●P76)

3 ファクスのいろいろな使いかた

着信音を鳴らさずにファクスを受信するには (FAX 無鳴動着信) 設定

無鳴動信号 1300 Hz 対応のファクスをお使いの場合は、ファクスの着信音を鳴らさずに自動受信することができます。
この機能をご利用になるには、FAX 自動転送または接続機器の設定が必要です。



● 必要な設定

アナログポートごとに FAX 無鳴動着信の設定が必要です。
無鳴動信号 1300 Hz を受信できるファクスが必要です。詳しくはファクスの取扱説明書でご確認ください。

FAX 無鳴動着信は、次の場合にご利用になれます。

- FAX 自動転送 (☛P103) を設定し、TEL2 ポートのファクスに自動転送したとき FAX 無鳴動着信、FAX 自動転送の設定が必要です。
- HLC 設定 (高位レイヤ整合性) を「しない」に設定しているとき、および接続機器の設定を「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」、HLC 設定 (高位レイヤ整合性) を「する」に設定している場合に、高位レイヤ整合性を G2 / G3 ファクスに設定した通信機器から着信したとき (☛「参考情報」)
FAX 無鳴動着信、接続機器の設定が必要です。

■ 設定例

TEL1 ポートに電話機、TEL2 ポートに無鳴動信号 1300 Hz 対応のファクスを接続し、ファクスの着信音を鳴らさずに自動転送する場合

FAX 自動転送の設定を行います。(☛P103)

TEL2 ポートに FAX 無鳴動着信の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
FAX 無鳴動着信	機能番号：29 (☛P150)	TEL2 ポート設定画面「その他」(☛「参考情報」)	「FAX 無鳴動着信する」を設定する
FAX 自動転送	機能番号：65 (☛P140)	TEL1・2 ポート共通設定画面「その他」(☛「参考情報」)	「FAX 自動転送」を設定する

🌀 お知らせ

- 次のような場合は、接続機器の設定によって FAX 無鳴動着信を利用することはできません。FAX 自動転送によってご利用になることはできません。
 - 相手が一般の電話回線からファクスを送信したとき
 - 相手の高位レイヤ整合性の設定が G2 / G3 ファクス以外のとき
 - 本商品の接続機器の設定が「電話機」で、かつ HLC 設定が「する」に設定されているとき

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファクスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
の呼び分けやファクスの

6
転送/ページ録音

7
電話機からの設定

4 発信者番号の通知と表示

発信者番号の通知について



発信者番号通知とは、相手先にこちらの電話番号（契約者回線番号、追加番号）を通知する機能です。INS ネット64のご契約者間、一般の電話回線のナンバー・ディスプレイご契約者、携帯電話機、PHS 対応電話機との通信でご利用になれます。

■ 通知される電話番号

通常は、契約者回線番号が通知されます。

サブアドレスを設定している場合は、サブアドレスも通知されます。（☛P124）

i・ナンバーやダイヤルインをご利用の場合など、発信者番号を設定しているときはその番号が通知されます。（☛P148、「参考情報」）

■ 電話番号の通知のされかた

発信者番号を通知するかどうかは、INS ネット64 ご契約時の内容、本商品の発信者番号通知の設定、発信時のダイヤル操作の組み合わせで決まります。

● INS ネット64 ご契約時の内容

INS ネット64のご契約時に「通常通知（通話ごと非通知）」、「通常非通知（回線ごと非通知）」のどちらかを選択していただきます。

● 発信者番号通知の設定

ポートごとに「通知する」、「通知しない」、「INS ネット64 申込内容に従う」を設定することができます。お買い求め時は、各ポートとも「INS ネット64 申込内容に従う」に設定されています。

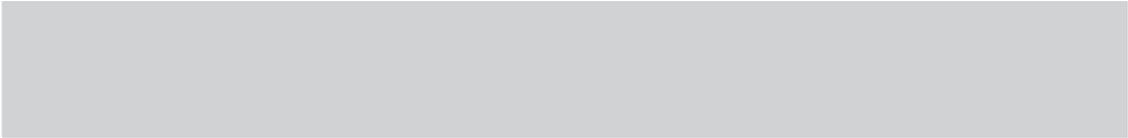
● 発信時のダイヤル操作

相手先の電話番号の前に「184」（通知しない）または「186」（通知する）を付けて、通知するかどうかを指定します。

契約	本商品の設定	ダイヤル操作		
		相手番号 (通常の操作)	184 + 相手番号	186 + 相手番号
通常通知 (通話ごと非通知)	通知する	○	×	○
	通知しない	×	×	○
	INS ネット64 申込内容に従う	○	×	○
通常非通知 (回線ごと非通知)	通知する	○	×	○
	通知しない	×	×	○
	INS ネット64 申込内容に従う	×	×	○

○：通知する

×：通知しない



● 設定の変更

ポートごとに、発信者番号通知の設定を変更することができます。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号通知	機能番号：21 (☛P148)	TEL1 ポート設定画面 ／TEL2 ポート設定画面 「発信・着信1」 (☛「参考情報」) データポート設定画面 「発信・着信」 (☛「参考情報」)	次のいずれかを選択する 「通知する」：発信者番号を通知する 「通知しない」：発信者番号を通知しない 「INS ネット64申込内容に従う」：INS ネット64の契約時の内容（「通常通知」または「通常非通知」）に従って通知する

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファクスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送／メッセージ録音

7
電話機からの設定

📢 お知らせ

- 発信者番号通知を「通知する」または「通知しない」に設定し、i・ナンバー (☛P116) を「使用する」に設定した場合は、必ず発信者番号を正しく設定してください。

TELで設定 (機能番号：20) (☛P148)

PCで設定 (☛「参考情報」)

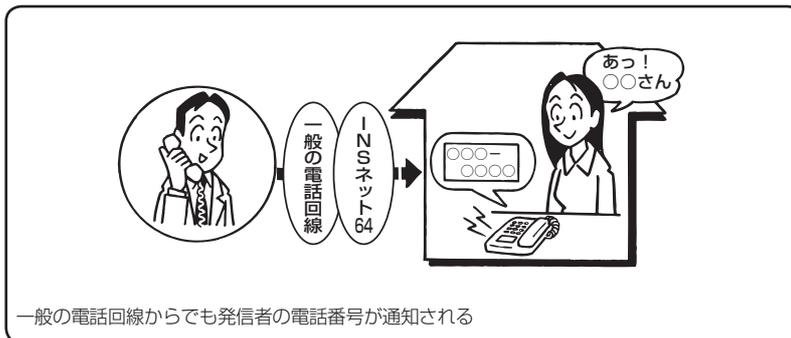
- 発信者番号の設定をしなかったり、間違えて設定した場合は、契約者回線番号が通知されます。ただし、i・ナンバー (☛P116) を「使用する」に設定した場合は、発信者番号の設定をしないと、発信ポート番号指定で選択した i・ナンバー情報に対応する電話番号が通知されます。

4 発信者番号の通知と表示

一般回線からの電話番号も表示するには (INS ナンバー・ディスプレイ)



一般の電話回線から着信があった場合でも、発信者の電話番号をナンバー・ディスプレイ対応の電話機やファクスに表示させることができます。電話番号が通知されない場合は、その理由が通知されます。
かけてきた方の電話番号を確認してから、電話に出ることができます。



● 必要な契約

INS ナンバー・ディスプレイの契約（有料）が必要です。相手の方の電話番号が表示されない場合の非通知理由を表示するには、非通知理由の契約を「有」にする必要があります。
相手が INS ネット 64 ご契約者、携帯電話機、PHS 対応電話機であれば、このサービスを契約していなくても、発信者番号通知サービスによって発信者番号が通知されます。

● 必要な設定

アナログポートに、ナンバー・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。
アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

INS ナンバー・ディスプレイを設定する

TELで設定 (P146)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

ハンドセットを取り上げる→*→*→*→設定する TEL ポートの番号 (①または②)
→ ① ① →*→①→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(P45)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファクスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファクスの
呼び分け

6
転送／
メッセージ録音

7
電話機からの
設定



ワンポイント

● サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合はナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TELで設定 (機能番号 : 11) (☛P146)



お知らせ

- INS ナンバー・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの 116 番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、発信者番号は通知されません。

(次ページへ続きます)

4 発信者番号の通知と表示

一般回線からの電話番号も表示するには (INS ナンバー・ディスプレイ)



(前ページの続きです)

■ 相手の電話番号が通知されない理由 (非通知理由)

次の場合は、電話番号は通知されずに非通知理由が通知されます。

- 公衆電話からかかってきたとき
- 相手が電話番号を通知しない操作をしたとき、または通知しない契約になっているとき
- INS ナンバー・ディスプレイを提供していない地域からかかってきたとき、またはサービスが競合しているために電話番号を通知できないとき

電話番号が通知されないときにメッセージで応答する (INS ナンバー・リクエスト)



電話番号を通知しないでかかってきた相手に、「こちらは〇〇〇です。おそれいりますが、電話番号の前に186をつけてダイヤルするなど、あなたの電話番号を通知しておかけ直してください。」と音声で伝えることができます。この場合、電話機の着信音は鳴りません。

● 必要な契約

INS ナンバー・リクエストの契約 (有料) が必要です。ただし、INS ナンバー・ディスプレイを契約している場合のみお申し込みいただけます。

● 必要な設定

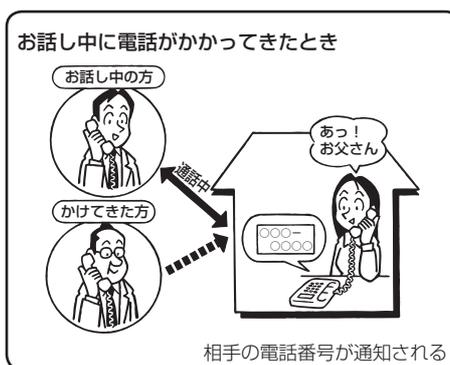
INS ナンバー・リクエストをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

キャッチホンと組み合わせて利用する (キャッチホン・ディスプレイ)



INS ナンバー・ディスプレイと、キャッチホン (INS キャッチホンまたは疑似キャッチホン) の機能を組み合わせて利用することができます。

外の相手とお話中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号または非通知理由を表示させることができます。



● 必要な契約

INS ナンバー・ディスプレイと INS キャッチホンを組み合わせる場合は、両方の契約 (有料) が必要です。INS ナンバー・ディスプレイと疑似キャッチホンを組み合わせる場合は、INS ナンバー・ディスプレイの契約 (有料) が必要です。

相手が INS ネット 64 ご契約者、携帯電話機、PHS 対応電話機であれば、INS ナンバー・ディスプレイを契約していなくても、キャッチホン・ディスプレイをご利用になれます。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファクスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

● 必要な設定

キャッチホン・ディスプレイ対応の電話機、ファクスが必要です。

ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、キャッチホンの設定、キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10 (☛P146)	TEL1 ポート設定画面 ／TEL2 ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☛「参考情報」)	「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する
キャッチホン	機能番号：02 (☛P144)	TEL1 ポート設定画面 ／TEL2 ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☛「参考情報」)	「INS キャッチホン」または「疑似キャッチホン」を選択する
キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：25 (☛P150)	TEL1 ポート設定画面 ／TEL2 ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」(☛「参考情報」)	「キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する



ワンポイント

● サブアドレスも表示させるには

サブアドレス受信機能のあるアナログ通信機器をお使いの場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、相手からサブアドレスが通知されたとき、サブアドレスを表示させることができます。

TELで設定 (機能番号：26) (☛P150)



お知らせ

- INS ナンバー・リクエストについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- アナログ通信機器によっては、発信者番号などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。
- アナログ通信機器にサブアドレス受信機能がない場合は、キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定を「しない」に設定してください。
- キャッチホン・ディスプレイによる着信時には、「プップ、プップ…」という音に加えて、「ピッ」という割込音が聞こえます。この割込音とお話し中の音が重なると、電話番号などの表示ができないことがあります。また、1秒程度、通話が途切れます。

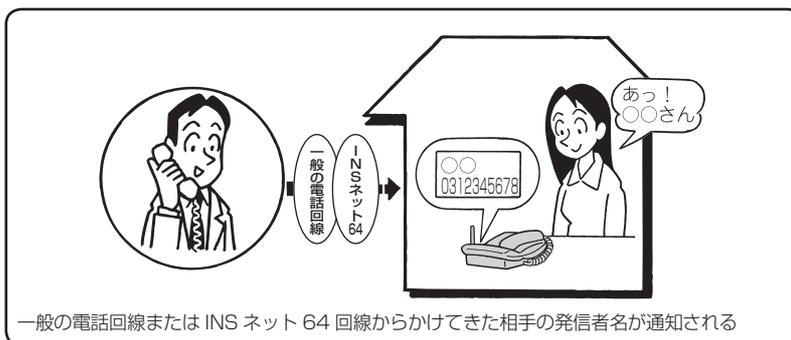
4 発信者番号の通知と表示

電話をかけてきた相手の名前を表示するには（ネーム・ディスプレイ）



本商品では、ナンバー・ディスプレイのオプションサービスであるネーム・ディスプレイをご利用になれます。電話がかかってくると、ネーム・ディスプレイに対応したアナログ通信機器に、電話番号とともにネーム・ディスプレイ情報を表示させることができます。

表示される発信者名は、かけてきた相手が NTT 東日本または NTT 西日本に申し込みをした名前になります。



● 必要な契約

INS ナンバー・ディスプレイ（有料）と、ネーム・ディスプレイ（有料）の契約が必要です。

● 必要な設定

アナログポートに、ネーム・ディスプレイ対応の電話機、ファクスを接続します。アナログポートごとに、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知の設定、ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知	機能番号：10 (☛P146)	TEL1 ポート設定画面 ／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」(☛「参考情報」)	「ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知する」を設定する
ネーム・ディスプレイ発信者名通知	機能番号：88 (☛P152)	TEL1 ポート設定画面 ／TEL2 ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」(☛「参考情報」)	「ネーム・ディスプレイ発信者名通知する」を設定する

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファクスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファクスの
呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの
設定



ワンポイント

● キャッチホン・ディスプレイ (P110) と組み合わせて利用すると

外の相手とお話中に、別の方から電話がかかってきたとき、あとからかけてきた方の電話番号とともにネーム・ディスプレイ情報を表示させることができます。



お知らせ

- アナログ通信機器によっては、発信者名などが正しく表示されないことがあります。
- アナログ通信機器の表示内容は、お使いの機器によって異なります。
- ネーム・ディスプレイ発信者名通知の設定は、ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知を設定したときのみ有効です。
- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、発信者名は通知されません。
- ネーム・ディスプレイについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
※ 「ネーム・ディスプレイ」サービスは、平成25年2月28日をもってサービス提供を終了しています。

5 電話やファクスの呼び分け

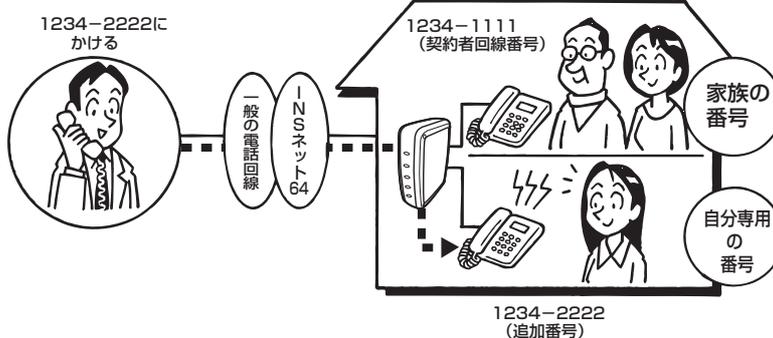
呼び分けのいろいろな方法

アナログポートに複数の機器を接続しているときは、いろいろな方法で呼び分けることができます。

i・ナンバーで複数の電話番号を使い分ける (P116)



1回線で2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話番号ごとにポートを呼び分けることができます。



ダイヤルインで複数の電話番号を使い分ける (P118)

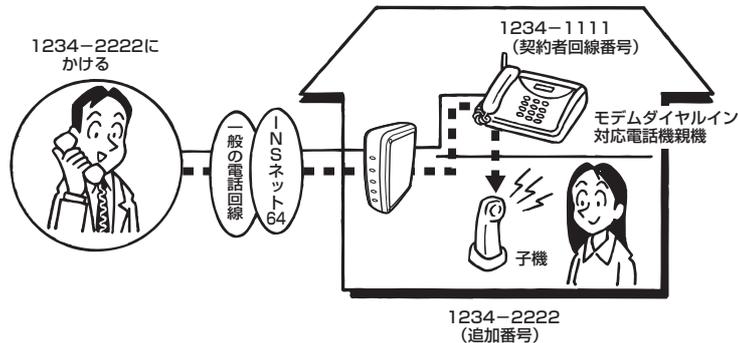


i・ナンバーと同様に、契約者回線番号のほかに追加番号を持つことができます。3つより多くの電話番号を使い分けたいとき、通信機器ごとに電話番号を使い分けたいときなどは、ダイヤルインを契約します。

1台のアナログ機器で電話番号を使い分ける (P120)



i・ナンバーまたはダイヤルインをご利用の場合、アナログポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、1台の機器で複数の電話番号を使い分けることができます。



1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな

3 ファクスのいろいろな

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファクスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

サブアドレスを指定して呼び分ける (P124)

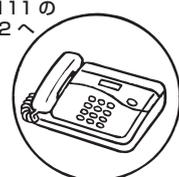
設定

電話をかけるときにサブアドレスを続けてダイヤルすることによって、そのアナログポートを呼び出すことができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。

1234-1111のサブアドレス11へかける



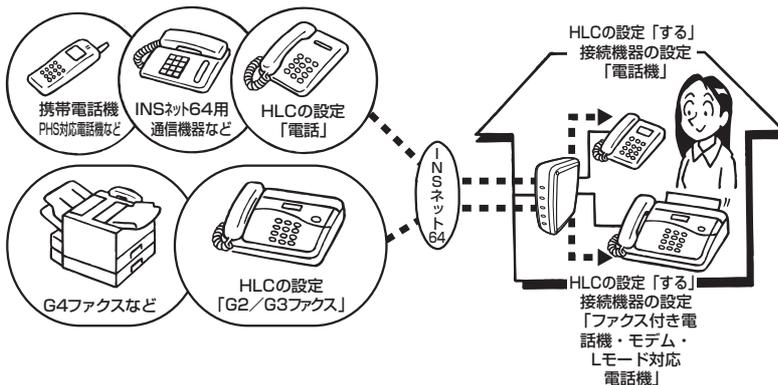
1234-1111のサブアドレス12へかける



HLCの設定で呼び分ける (P125)

設定

INS ネット 64 からの着信は、相手の HLC (高位レイヤ整合性) の設定と一致したアナログポートだけに着信するので、1 つの電話番号で呼び分けることができます。一般の電話回線からの着信では、この機能を利用した呼び分けはできません。



5 電話やファクスの 呼び分け

i・ナンバーで複数の電話番号を 使い分けるには (i・ナンバー)



i・ナンバーをご契約になると、2つまたは3つの電話番号を持つことができます。電話機やファクスを別々の番号で受けたいときなどは、電話番号ごとに呼び分けることができます。

● 必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

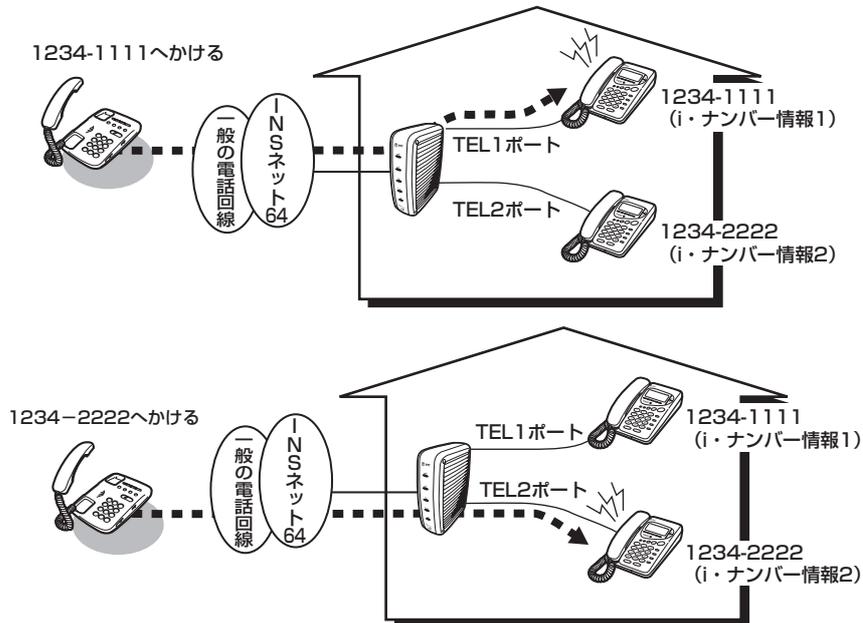
i・ナンバーを「使用する」に設定して、i・ナンバー電話番号を登録します。1つめの電話番号（契約者回線番号）が i・ナンバー情報 1、2つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 2、3つめの電話番号（追加番号）が i・ナンバー情報 3 となります。

お買い求め時は、1つめの電話番号は TEL1 ポート、2つめの追加番号は TEL2 ポートに着信するように設定されています（3つめの追加番号に電話がかかってきた場合には着信しません）。着信するポートを変更するには、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定の変更が必要です。

i・ナンバーを設定する

■ 設定例

契約者回線番号（1234-1111）は TEL1 ポート、追加番号（1234-2222）は TEL2 ポートに着信させる場合



TELで設定 (P144、148)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● i・ナンバーを「使用する」に設定する

ハンドセットを取り上げる→*→*→*→0→8→3→*→1→#→ハンドセットを置く

● i・ナンバー情報 1 の電話番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→*→*→*→0→8→4→*→契約者回線番号 (例: 12341111)
→#→ハンドセットを置く

● i・ナンバー情報 2 の電話番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→*→*→*→0→8→5→*→追加番号 (例: 12342222)
→#→ハンドセットを置く

● TEL1 ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→*→*→*→1→2→0→*→契約者回線番号 (例: 12341111)
→#→ハンドセットを置く

● TEL2 ポートの発信者番号を設定する

ハンドセットを取り上げる→*→*→*→2→2→0→*→追加番号 (例: 12342222)
→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イーザーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(P45)
また、設定ユーティリティの「i・ナンバー設定」で、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定を個別に設定することができます。(「参考情報」)

ワンポイント

● 親機と子機で番号を使い分けには

モデムダイヤルライン対応のアナログ通信機器をお使いになると、i・ナンバーを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。(P122)

お知らせ

- i・ナンバーについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

お願い

- 発信者番号は正しく設定してください。i・ナンバー使用時に相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知 (P106) で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INS ネット 64 サービスが利用できない場合があります。

TELで設定 (機能番号: 20) (P148)

PCで設定 (「参考情報」)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファクスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

5 電話やファクスの呼び分け

ダイヤルイン/グローバル着信で複数の電話番号を使い分けるには (ダイヤルイン/グローバル着信)



ダイヤルインをご契約になると、アナログポートに接続した電話機やファクスで複数の電話番号を使い分けることができます。TEL1 ポート、TEL2 ポートそれぞれに、最大 8 個の電話番号を設定することができます。

● 必要な契約

ダイヤルインの契約（有料）が必要です。

INS ネット 64 の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より 1 つ多い電話番号（追加番号が 1 つであれば 2 つの電話番号）を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。

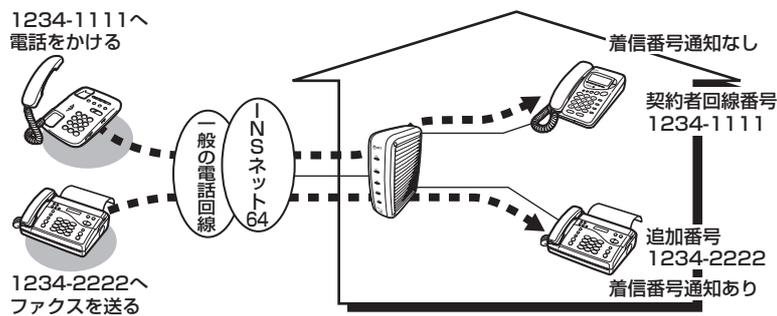
「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が 1 つ多く必要となります。

● 必要な設定

発信者番号の設定、着信する番号の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合は、グローバル着信選択の設定が必要です。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号（1234-1111）は TEL1 ポート、追加番号（1234-2222）は TEL2 ポートに着信させる場合



機能	TELで設定	設定内容
グローバル着信	機能番号：03 (☛P144)	TEL1 ポートは「グローバル着信する」に設定する TEL2 ポートは「グローバル着信しない」に設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P148)	TEL1 ポートは契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2 ポートは追加番号（1234-2222）を入力する
着信する番号	機能番号：30～37 (☛P150)	TEL1 ポートの着信する番号 0 に契約者回線番号（1234-1111）を入力する TEL2 ポートの着信する番号 0 に追加番号（1234-2222）を入力する

PCで設定

イーザーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(●P45)
ダイヤルインの追加番号が3個以上の場合は、設定ユーティリティで設定します。(TEL1ポート設定画面／TEL2ポート設定画面「発信・着信1」)(●「参考情報」)



ワンポイント

- **グローバル着信とは**
契約者回線番号への着信時に、契約者回線番号を通知しない機能です。グローバル着信を契約すると、通常は契約者回線番号に電話がかかってきたとき、すべてのアナログ通信機器の着信音が鳴りますが、本商品は、グローバル着信選択の設定により、着信するかどうかを選択できます。このため、追加番号を1つ契約するだけで2台のアナログ通信機器を呼び分けることができます。
- **グローバル着信を利用しないときは**
グローバル着信選択の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。
- **1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには**
モデムダイヤルイン対応のアナログ通信機器をお使いになると、ダイヤルインを利用して、親機と子機で番号を使い分けたり、電話の着信とファクスの着信を呼び分けたりすることができます。(●P122)



お知らせ

- ダイヤルイン、グローバル着信について、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、ダイヤルイン、グローバル着信はご利用になれません。



お願い

- 発信者番号は正しく設定してください。相手に正しい電話番号が伝わらなかったり、発信者番号通知(●P106)で設定した内容が有効とならない場合があります。また、INSネット64サービスが利用できない場合があります。

TELで設定 (機能番号: 20) (●P148)

PCで設定 (●「参考情報」)

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
ファクスのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送/録音

7
電話機からの設定

5 電話やファクスの呼び分け

1台のアナログ通信機器で番号を使い分けるには (モデムダイヤルイン)



モデムダイヤルイン対応の電話機を接続して、電話番号を使い分けることができます。コードレス電話機の親機と子機で番号を使い分けたり、ファクス付き電話機で電話とファクスの番号を使い分けたりすることができます。この機能をご利用になるには、i・ナンバーまたはダイヤルインの契約が必要です。

i・ナンバーを利用する場合

● 必要な契約

i・ナンバーの契約（有料）が必要です。

● 必要な設定

i・ナンバーの設定、i・ナンバー電話番号の設定、i・ナンバー着信設定、発信ポート番号指定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。

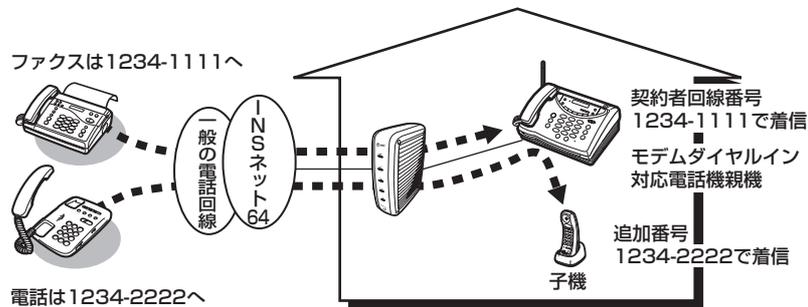
モデムダイヤルイン対応電話機の親機および子機から、同じ発信者番号が通知されるように、発信者番号の設定も必要です。

また、モデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号（P144、「参考情報」）に設定した電話番号を登録してください。

■ 設定例

契約者回線番号（1234-1111）はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号（1234-2222）は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号（1234-1111）、子機に追加番号（1234-2222）を設定します。



機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
i・ナンバー	機能番号：83 (☛P144)	i・ナンバー設定画面 (☛「参考情報」)	「使用する」を選択する
i・ナンバー 電話番号 i・ナンバー 情報 1	機能番号：84 (☛P144)	i・ナンバー設定画面 (☛「参考情報」)	契約者回線番号 (1234-1111) を入力する
i・ナンバー 電話番号 i・ナンバー 情報 2	機能番号：85 (☛P144)	i・ナンバー設定画面 (☛「参考情報」)	追加番号 (1234-2222) を入力する
i・ナンバー 着信設定	機能番号：24 (☛P150)	i・ナンバー設定画面 (☛「参考情報」)	TEL1 ポートのみ i・ナンバー情報 1、i・ナンバー情報 2 着信可
発信ポート 番号指定	機能番号：23 (☛P148)	i・ナンバー設定画面 (☛「参考情報」)	TEL1 ポートに i・ナンバー情報 1 を設定する
発信者番号	機能番号：20 (☛P148)	TEL1 ポート設定画面 「発信・着信 1」 (☛「参考情報」)	TEL1 ポートの発信者番号として、契約者回線番号 (1234-1111) または追加番号 (1234-2222) を入力する
モデムダイヤル イン着信電 話番号通知	機能番号：12 (☛P146)	TEL1 ポート設定画面 「キャッチホン・番号通知」 (☛「参考情報」)	TEL1 ポートは「する」に設定する

- このほか、お使いのモデムダイヤルイン対応の電話機やファクスに契約者回線番号および追加番号の登録を行います。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、i・ナンバー電話番号 (☛P144、「参考情報」) に設定した電話番号を登録してください。

1
すぐに使えます

2
な使いのいろいろ

3
いろいろな使いのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

(次ページへ続きます)



(前ページの続きです)

ダイヤルインを利用する場合

● 必要な契約

ダイヤルインの契約(有料)が必要です。

INS ネット 64 の「グローバル着信」を「利用する」でご契約になると、本商品のグローバル着信選択機能により、追加番号の契約数より1つ多い電話番号(追加番号が1つであれば2つの電話番号)を利用できます。グローバル着信は、ダイヤルインのご契約時に無料で契約できます。

「グローバル着信」を「利用しない」でご契約になり、ダイヤルインを契約することもできます。ただし、グローバル着信を利用しない契約の場合は、契約者回線番号を含めて番号ごとにダイヤルイン番号として契約する必要があります。したがって、グローバル着信を利用する契約の場合より、ダイヤルイン番号の契約が1つ多く必要となります。

● 必要な設定

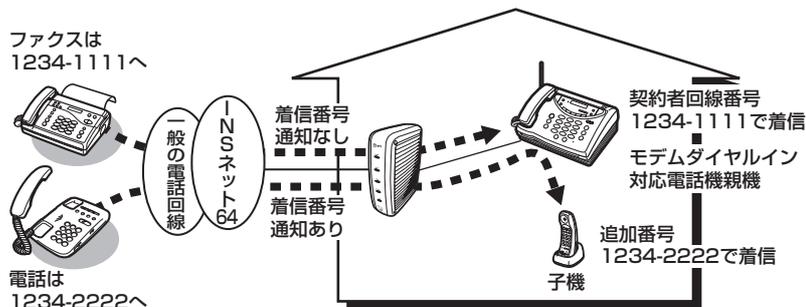
モデムダイヤルイン用契約者回線番号の設定、着信する番号の設定、モデムダイヤルイン着信電話番号通知の設定が必要です。グローバル着信を利用する場合はグローバル着信選択の設定が必要です。

また、モデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録が必要です。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。

■ 設定例

グローバル着信の利用を契約し、契約者回線番号(1234-1111)はTEL1ポートに接続した電話機の親機、追加番号(1234-2222)は子機に着信させる場合

あらかじめTEL1ポートにモデムダイヤルイン対応の電話機を接続し、親機に契約者回線番号(1234-1111)、子機に追加番号(1234-2222)を設定します。



1
すぐに使えます2
電話のいろいろ3
いろいろな使いかた4
発信番号表示5
電話やファクスの呼び分け6
転送/メッセージ録音7
電話機からの設定

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
モデムダイヤルイン用契約者回線番号	機能番号：61 (☛P140)	TEL1・2ポート共通設定画面「その他」 (☛「参考情報」)	契約者回線番号 (1234-1111)を入力する
グローバル着信	機能番号：03 (☛P144)	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」 (☛「参考情報」)	TEL1ポートは「グローバル着信する」を設定する
着信する番号	機能番号：30 ～37(☛P150)	TEL1ポート設定画面「発信・着信1」 (☛「参考情報」)	TEL1ポートの着信する番号0に追加番号 (1234-2222)を入力する
モデムダイヤルイン着信電話番号通知	機能番号：12 (☛P146)	TEL1ポート設定画面「キャッチホン・番号通知」 (☛「参考情報」)	TEL1ポートは「する」を設定する

- このほか、お使いのモデムダイヤルイン対応電話機で契約者回線番号、追加番号の登録を行います。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。ただし、取扱説明書の記載にかかわらず、必ず市内局番から登録してください。



ワンポイント

- モデムダイヤルインとは**
受信した追加番号をモデム信号に変換して、電話機などに送る機能です。モデムダイヤルイン対応の電話機に登録されている追加番号に応じて、該当する機器（親機または子機）で着信します。
- モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレスを通知するには**
モデムダイヤルイン対応電話機にサブアドレス受信機能がある場合は、モデムダイヤルイン着サブアドレス付加設定を「する」に設定すると、サブアドレスを通知することができます。
TELで設定（機能番号：13）（☛P146）
- グローバル着信を利用しないときは**
グローバル着信の設定は必要ありません。その他の設定は、グローバル着信を利用するときと同じです。



お知らせ

- 外線または内線通話中に着信があり、通話を終了してからその着信を受けた場合は、ダイヤルインの追加番号またはi・ナンバー電話番号は、アナログ通信機器に通知されません。
- モデムダイヤルインとメッセージあり情報通知（☛P99、101）を同時に利用することはできません。



お願い

- i・ナンバーを「使用する」に設定した場合は、必ずi・ナンバー電話番号も設定してください。i・ナンバー電話番号を設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。
- ダイヤルイン、グローバル着信をご利用の場合は、必ずモデムダイヤルイン用契約者回線番号を市内局番から設定してください。設定しないと、モデムダイヤルイン対応電話機が正常に動作しない場合があります。

5 電話やファクスの呼び分け

サブアドレスを指定して特定の機器を呼び出すには (サブアドレス)



サブアドレスを設定すると、相手が電話をかけるとき、電話番号に続けてサブアドレスをダイヤルすることにより、特定の電話機やファクスを直接呼び出すことができます。

サブアドレスは、相手がINS ネット 64 に加入している場合のみ利用できます。通知されたサブアドレスと、本商品のサブアドレスが完全に一致しないと、着信は受け付けられません。

● 必要な設定

お買い求め時は、各ポートのサブアドレスは設定されていません。サブアドレスを利用するには、各ポートにサブアドレスを設定する必要があります。

お買い求め時は、相手がサブアドレスを付けなくても着信するように設定されています。サブアドレスなしの着信を受け付けないようにするには、サブアドレスなし着信の設定を「着信しない」にします。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
サブアドレス	機能番号：38 (☛P150)	TEL1 ポート設定画面 / TEL2 ポート設定画面「発信・着信1」(☛「参考情報」) データポート設定画面「発信・着信」(☛「参考情報」)	ポートごとに任意の番号(最大19桁)を入力する
サブアドレスなし着信 (サブアドレスなしの着信を受け付け ない場合)	機能番号：04 (☛P146)	TEL1 ポート設定画面 / TEL2 ポート設定画面「発信・着信1」(☛「参考情報」) データポート設定画面「発信・着信」(☛「参考情報」)	サブアドレスなしの着信を受け付け ない場合は、「サブアドレス着信 しない」を設定する



ワンポイント

● 相手が一般の電話回線からかけてきたときは

サブアドレスを指定できない一般の電話回線からの着信は、サブアドレスを設定していても受け付けることができません。サブアドレスによる呼び分けはできません。



お知らせ

- サブアドレスなし着信を「着信しない」に設定すると、一般の電話回線からの着信やサブアドレスのない着信は受けられません。

5 電話やファクスの呼び分け

HLC の設定で呼び分けるには (HLC・接続機器設定)

接続機器の設定に加えて、HLC 設定をすることで電話機とファクスを呼び分けることができます。
相手の HLC の設定と一致したアナログポートに着信するので、同じ電話番号で呼び分けることができます。この機能は、相手が INS ネット 64 から発信した場合、携帯電話機や PHS 対応電話機から発信した場合にご利用になれます。

● 必要な設定

アナログポートごとに、HLC 設定、接続機器設定が必要です。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
HLC 設定	機能番号：39 (☛P150)	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 2」 (☛「参考情報」)	HLC 設定を「する」に設定する
接続機器設定	機能番号：01 (☛P144)	TEL1 ポート設定画面／TEL2 ポート設定画面「発信・着信 2」(☛「参考情報」)	TEL1 ポート、TEL2 ポートに接続する機器に合わせてどちらかを選択する 「電話機」 ：HLC 設定が「電話」の相手からの着信を受ける 「ファクス付き電話機・モデム・L モード対応電話機」 ：HLC 設定が「G2 / G3 ファクス」の相手からの着信を受ける



ワンポイント

- 相手が一般の電話回線からかけてきたときは
一般の電話回線からの着信は、HLC が設定されていません。HLC の設定による呼び分けはできません。
- HLC の設定の違いにより着信できないときは
HLC の設定が異なるポートには着信しません。この場合は、HLC の設定を「しない」に設定してください。



お知らせ

- アナログポートにファクス付き電話機を接続したときは、相手が電話でもファクスでも着信を受けられるように HLC の設定を「しない」にしてください。

1
すぐに使えます

2
な使いのいろいろ

3
いろいろな使いのいろいろ

4
発信者番号の通知と表示

5
の呼び分け

6
転送 / メッセージ録音

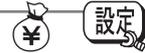
7
電話機からの設定

6 転送/メッセージ録音

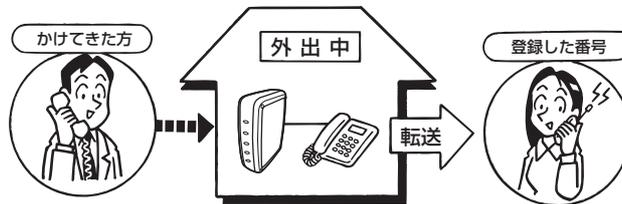
電話に出られないときのいろいろな方法

かかってきた電話に出られないときは、ほかの電話に転送したり、相手にメッセージを録音していただいたりすることができます。

着信転送で指定した番号へ転送する (P128)



フレックスホンの着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。電話をかけてきた方と、転送先の方に、転送していることを知らせるアナウンスを流すことができます。

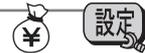


疑似着信転送で指定した番号へ転送する (P128)



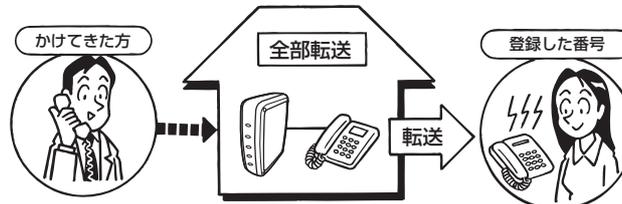
疑似着信転送を利用して、外の相手からかかってきた電話を、あらかじめ登録している電話番号へ転送します。すべてのポートが空いているときだけ利用できます。

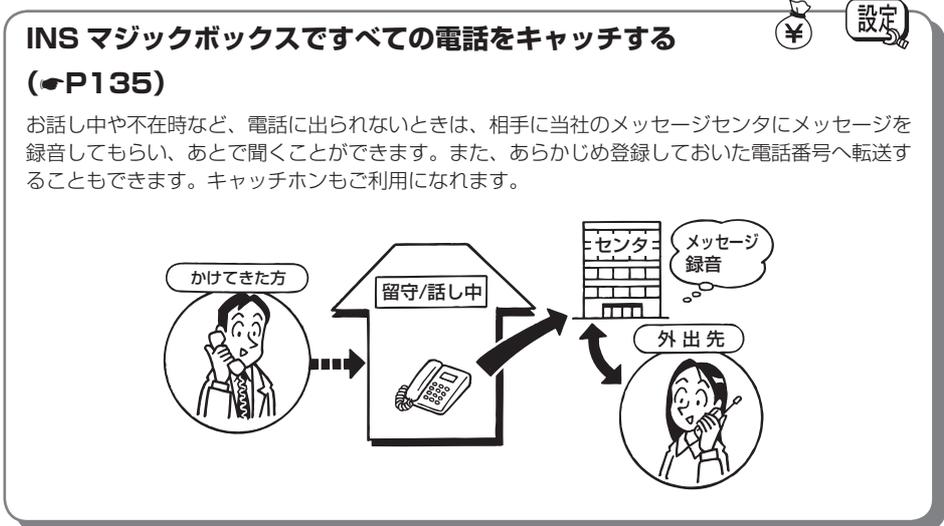
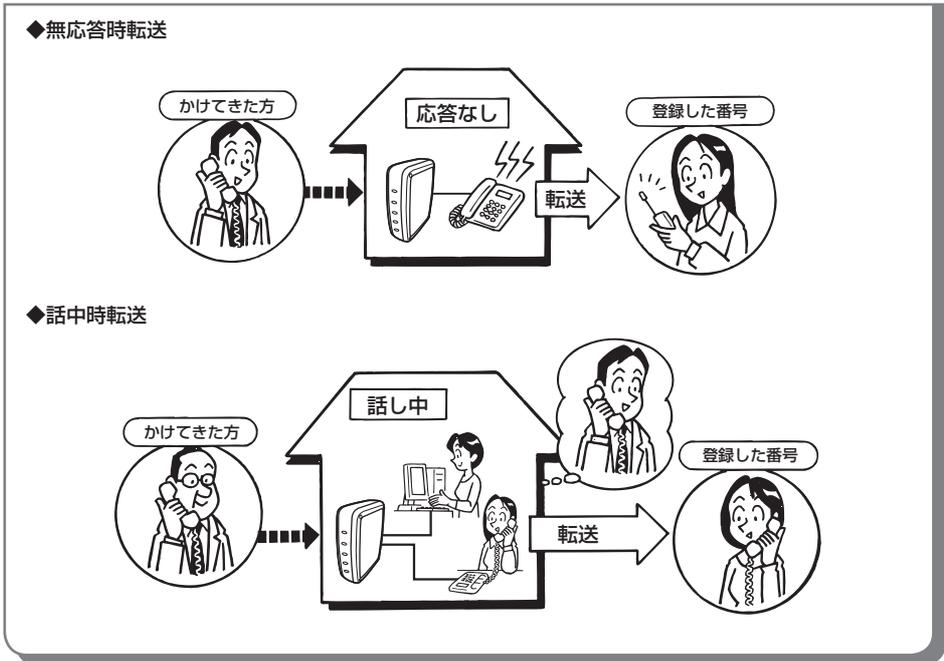
INS ボイスワープ/INS ボイスワープセレクトで条件を指定して転送する (P133)



かかってきた電話を無条件で転送する、設定した時間内に応答できなければ転送する、2つのポートを使用中に転送するの3つの中から、条件を選択して転送します。転送先は5か所まで登録できます。

◆無条件転送





- 1 すぐに使えます
- 2 電話のいろいろな使いかた
- 3 ファックスのいろいろな使いかた
- 4 発信者番号の通知と表示
- 5 電話やファックスの呼び分け
- 6 転送/メッセージ録音
- 7 電話機からの設定

外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送/疑似着信転送)

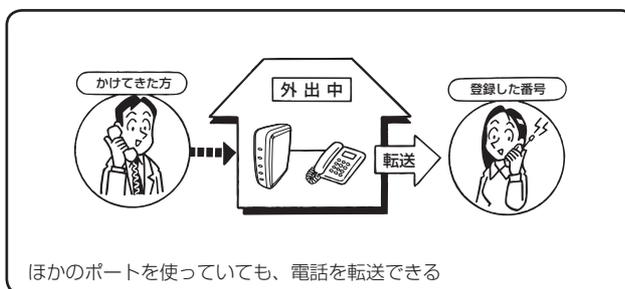
外からの電話を、あらかじめ登録しておいた別の相手に転送することができます。
フレックスホンの着信転送、疑似着信転送の2つの方法があります。

着信転送 (フレックスホン)



設定

かかってきた電話を転送することができます。
電話をかけてきた相手、転送先の相手に転送することを音声で知らせることができます。(転送トーク、転送元トーク)



転送中の音声アナウンス (転送トーク、転送元トーク)

転送中は、次のような音声アナウンスを流すことができます。音声の内容は、地域によって若干異なる場合があります。

- 電話をかけてきた方へのアナウンス (転送トーク)
「ただいま電話を転送しますので、そのままお待ちください。」
- 転送先へのアナウンス (転送元トーク)
「電話が転送されてまいりますので、そのままお待ちください。」

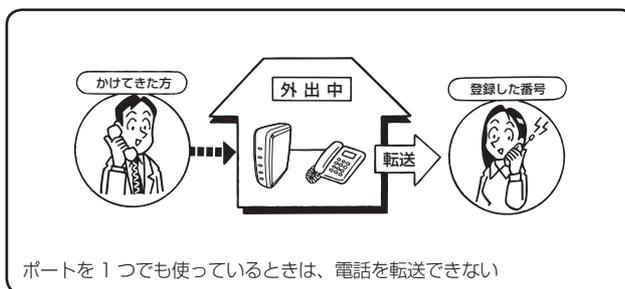
● 必要な契約

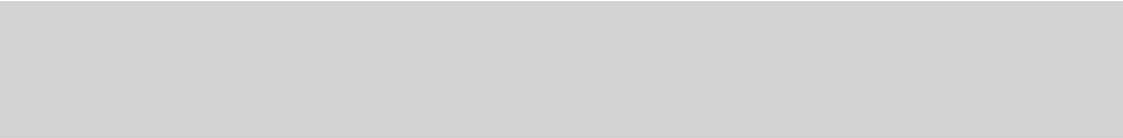
フレックスホンの着信転送機能の契約 (有料) が必要です。
フレックスホンの他の機能 (INS キャッチホン、通信中転送、三者通話) もあわせてご利用になれます。

疑似着信転送

設定

すべてのポートが空いている時に、かかってきた電話を転送することができます。





着信転送または疑似着信転送を設定する

着信転送の設定、着信転送先電話番号、着信転送元電話番号の登録が必要です。電話番号は、契約者回線番号、i・ナンバーまたはダイヤルインの追加番号ごとに設定します。
着信転送（フレックスホン）の場合、転送中に、電話をかけてきた方や転送先へアナウンスを流す場合は、着信転送トーキの設定が必要です。

■ 設定例

契約者回線番号（03-1234-1111）にかかってきた電話を 03-XXXX-5555 へ転送する場合

TELで設定 (P138、140)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● 着信転送または疑似着信転送を設定する

ハンドセットを取り上げる→* * * → 0 → 5 2 → * → 1 または 2（疑似着信転送：①、着信転送：②）→ # → ハンドセットを置く

● 着信転送先電話番号（契約者回線番号用）を設定する

ハンドセットを取り上げる→* * * → 0 → 5 4 → * → 転送先の電話番号（03-XXXX-5555）→ # → ハンドセットを置く

● 着信転送元電話番号（契約者回線番号用）を設定する

ハンドセットを取り上げる→* * * → 0 → 5 7 → * → 転送元の電話番号（03-1234-1111）→ # → ハンドセットを置く

● 着信転送（フレックスホン）の場合は着信転送トーキを設定する

ハンドセットを取り上げる→* * * → 0 → 5 3 → * → 0 ~ 3 のいずれか → # → ハンドセットを置く

- ①：転送トーキなし、転送元トーキなし
- ②：転送トーキあり、転送元トーキなし
- ③：転送トーキなし、転送元トーキあり
- ④：転送トーキあり、転送元トーキあり

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファクスのいろいろな使いかた

4
発信番号の通知と表示

5
電話やファクスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

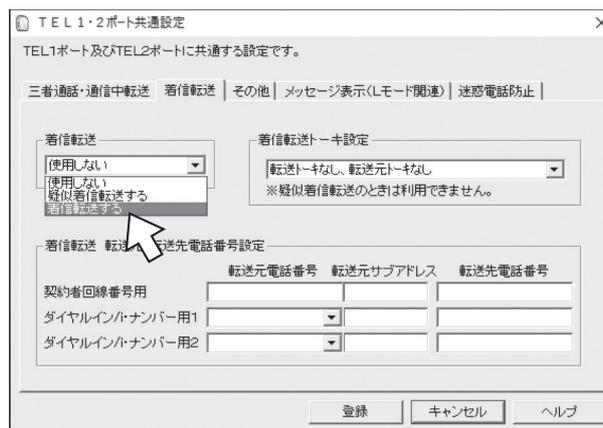
(次ページへ続きます)

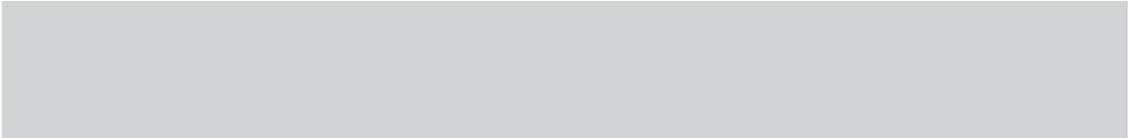
外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送/疑似着信転送)

(前ページの続きです)

PCで設定 (☛「参考情報」)

- 1 設定ユーティリティを起動する。(☛P50)
- 2 [TEL1・2ポート共通設定] をクリックする。
- 3 [着信転送] をクリックする。
- 4 [着信転送する] または「疑似着信転送する」を選択する。





5 契約者回線番号用の転送元電話番号（例：03-1234-1111）、転送先電話番号（例：03-XXXX-5555）を入力する。

TEL1・2ポート共通設定

TEL1ポート及びTEL2ポートに共通する設定です。

三者通話・通信中転送 | 着信転送 | その他 | メッセージ表示(Lモード関連) | 迷惑電話防止

着信転送
着信転送する

着信転送トーク設定
転送トークなし、転送元トークなし
※疑似着信転送のときは利用できません。

着信転送 転送元・転送先電話番号設定

	転送元電話番号	転送元サブアドレス	転送先電話番号
契約者回線番号用	0312341111		03XXXX5555
ダイヤルイン/ナンバー用1			
ダイヤルイン/ナンバー用2			

登録 キャンセル ヘルプ

6 着信転送（フレックスホン）の場合は、着信転送トークを次のいずれかから設定する。

- 転送トークなし、転送元トークなし
- 転送トークあり、転送元トークなし
- 転送トークなし、転送元トークあり
- 転送トークあり、転送元トークあり

7 [登録] をクリックする。

8 [終了] をクリックする。

9 [OK] をクリックする。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな

3
いろいろな使いかた

4
発信番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送メッセージ録音

7
電話機からの設定

(次ページへ続きます)

外からの電話を別の相手に転送するには (着信転送／疑似着信転送)

(前ページの続きです)



ワンポイント

● **着信転送、疑似着信転送を停止／再開するには**

電話機からの操作で、着信転送または疑似着信転送を一時的に停止したり、再開したりすることができます。

- 着信転送または疑似着信転送を停止する

ハンドセットを取り上げる→**(*) (*) (*)** ① ⑤ ② **(*)** ① **(#)**を押す

- 着信転送を再開する

ハンドセットを取り上げる→**(*) (*) (*)** ① ⑤ ② **(*)** ② **(#)**を押す

- 疑似着信転送を再開する

ハンドセットを取り上げる→**(*) (*) (*)** ① ⑤ ② **(*)** ① **(#)**を押す

● **着信転送、疑似着信転送が行われているときは**

ACT ランプが緑色の点灯と点滅を繰り返します。(☛P25)

ただし、回線に異常がある場合やデータポートで通信している場合は、その表示が優先されます。



お知らせ

- フレックスホンについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
- 転送元および転送先の電話番号を登録しないと、転送の設定は無効になります。
- 転送先としてディスプレイポケットベルの電話番号を登録することはできません。
- 転送元としてサブアドレスのみを登録することはできません。
- 転送元に着信があっても、アナログポートに接続した通信機器の着信音は鳴りません。
- 疑似着信転送では、転送先への通話料金は TEL1 ポートに加算されます。
- グローバル着信があった場合は、契約者回線番号用の転送元電話番号の設定内容に関係なく、転送先電話番号に転送されます。
- ダイヤルインでグローバル着信を利用しない契約をしている場合、契約者回線番号で着信転送するには、ダイヤルイン用1またはダイヤルイン用2の着信転送元電話番号に契約者回線番号を設定してください。
- i・ナンバー (☛P116) をご利用の場合、転送元電話番号、転送元サブアドレス、転送先電話番号は、i・ナンバー用1またはi・ナンバー用2の欄に設定してください。
- i・ナンバー (☛P116) をご利用のときに、3つめの電話番号(追加番号)で着信転送を行う場合は、i・ナンバー用1またはi・ナンバー用2の欄に設定してください。
- i・ナンバー (☛P116) を「使用する」に設定した場合は、転送元の電話番号を必ずi・ナンバー電話番号に設定してください。設定しておかないと、転送の設定は無効になります。

6 転送/メッセージ録音

条件を指定して転送するには (INS ボイスワープ/INS ボイスワープセレクト)

INS ボイスワープおよびINS ボイスワープセレクトは、高性能な着信転送サービスです。INS ボイスワープをご利用になると、転送する条件を選択することができます。転送先は5か所まで登録できます。INS ボイスワープセレクトをご利用になると、INS ボイスワープの機能に加えて、転送する方法を選択することができます。

INS ボイスワープ



転送条件を次の中から選択することができます。

- かかってきた電話を無条件で転送する (無条件転送)
- あらかじめ設定した秒数だけ着信を通知し、応答がなければ転送する (無応答時転送)
- 2つのポートを使用中のとき、または着信拒否、i・ナンバー、ダイヤルインなどの設定により、1つのポートが空いていても着信できないときに転送する (話中時転送)

INS ボイスワープセレクト



INS ボイスワープの機能に加えて、転送方法を次の中から選択することができます。

- 登録した電話番号からの着信を転送する (登録番号転送モード)
- 登録した電話番号以外からの着信を転送し、登録した電話番号からの着信は転送しない (登録番号着信モード)
- すべての着信を転送する (全番号転送モード)

● 必要な契約

INS ボイスワープ/ボイスワープセレクトの契約 (有料) が必要です。転送先の電話番号は、アナログポートに接続した電話機から登録・登録解除ができます。

● 必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS ボイスワープ/INS ボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録する必要があります。INS ボイスワープ/ボイスワープセレクトをご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

INS ボイスワープ/INS ボイスワープセレクトをご利用になる場合の設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INS ボイスワープ/INS ボイスワープセレクトをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

(次ページへ続きます)

お知らせ

- INS ボイスワープ、INS ボイスワープセレクトについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ

3
いろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

条件を指定して転送するには (INS ボイスワープ/INS ボイスワープセレクト)

(前ページの続きです)

TELで設定 (P148)

両方のアナログポートに電話機を接続している場合は、どちらの電話機からでも設定できます。

● 発信者番号を登録する

ハンドセットを取り上げる→*→*→*→設定する TEL ポートの番号 (①または②) →②①
→*→電話番号→#→ハンドセットを置く

PCで設定

イーージーウィザードの「アナログポートの簡単設定」で設定することができます。(P45)

6 転送/メッセージ録音

すべての電話をキャッチするには (INSマジックボックス)



INSマジックボックスは、メッセージ録音、着信転送、INSキャッチホンの機能を1つにまとめたサービスです。不在時には、相手にメッセージを録音していただいたり、登録した電話番号へ転送することができます。お話し中にかかってきた電話にも出ることができます。

■メッセージ録音について

録音されたメッセージは、当社のメッセージセンタに保存されます。外出先からメッセージを聞くこともできます。

メッセージは1件3分まで、最大20件まで録音できます。メッセージの保存期間は7日間です。

●必要な契約

INSマジックボックスの契約（有料）が必要です。ご契約時に転送先の電話番号を登録してください。

●必要な設定

i・ナンバー、ダイヤルイン、代表取扱サービスを契約されている場合は、INSマジックボックスをご利用になる電話番号を発信者番号に登録してください。

機能	TELで設定	PCで設定	設定内容
発信者番号	機能番号：20 (☛P148)	TEL1ポート設定画面/ TEL2ポート設定画面「発信・ 着信1」(☛「参考情報」)	電話番号(最大32桁)を入力する

INSマジックボックスのINSキャッチホンをご利用になる場合は、INSキャッチホンの設定を行ってください。(☛P82)

INSマジックボックスの着信転送をご利用になるには、開始の操作が必要です。ご契約時は停止状態になっています。

1
すぐに使えます

2
電話の
かた
り
の
い
ろ
ろ

3
フ
ァ
ク
ス
の
い
ろ
ろ

4
発
信
者
番
号
の
通
知
と
表
示

5
電
話
や
フ
ァ
ク
ス
の
呼
び
分
け

6
転
送
/
メ
ッ
セ
ー
ジ
録
音

7
電
話
機
か
ら
の
設
定

📞 お知らせ

- INSマジックボックスについて、詳しくは局番なしの116番または当社の営業所等へお問い合わせください。
※ 「INSマジックボックス」サービスは、平成28年2月29日をもってサービス提供を終了しています。

7 電話機からの設定

電話機から機能を設定するには

本商品のさまざまな機能をご利用になるには、設定が必要です。アナログポート(TEL1ポートまたはTEL2ポート)に接続した電話機を使って、アナログポートのいろいろな機能を設定することができます。

本商品がINSネット64に接続していなくても、設定は行えます。

以下の手順をご確認のうえ、設定一覧(●P138)の表をご覧ください。

ダイヤル式(DP)の電話機をお使いの場合、この機能はご利用になれません。

■ 設定手順 <例> TEL1ポートに疑似キャッチホンを設定する

共通の開始操作です。

1 ハンドセットを取りあげる。

「ツー」という発信音が聞こえます。INSネット64に接続していないときは話中音が聞こえます。



2 * * * と押す。

「ブツ」という設定開始音が聞こえます。



3 ポート番号を押す。

<例> TEL1ポート設定

- ①: TEL1、TEL2ポート共通設定
- ①: TEL1ポート設定
- ②: TEL2ポート設定



4 機能番号を押す。

<例> キャッチホン



5 * ボタンを押す。



(区切り記号)

6 設定値をダイヤルボタンで押す。

<例> 疑似キャッチホン



設定一覧の表を参照してください。

7 # ボタンを押す。

「ブツブツ」という確認音が聞こえ、設定内容が保存されます。



8 ハンドセットを置く。



その他の設定は、設定一覧(●P138)の表をご覧ください。

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファクスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファクスの
呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの
設定



ワンポイント

- **続けて設定するには**
手順 7 の操作のあと、手順 3 に戻ります。すべての設定が終わったら、ハンドセットを置きます。
- **操作を間違えたときは**
「ブップブップ」 という音が聞こえます。手順 3 からやり直してください。
- **設定を中止するには**
ハンドセットを置きます。また、何も操作しないまま約 60 秒過ぎると、設定が中止されます。中止したときは、「ブップ」 という確認音が聞こえたところまでの設定が保存されます。
- **リセット処理（お買い求め時の設定に戻す）を行ったときは**
手順 7 で「ブップ」 という確認音は聞こえず、本商品が再起動します。



お知らせ

- 2 台の電話機から同時に設定操作をすることはできません。
- 手順 7 で **(+)** ボタンを押したあと、ハンドセットを置く前に本商品の電源アダプタを抜き差しするなどにより、電源が切断された状態になった場合は、設定内容は保存されません。

電話機から機能を設定するには

■ 設定一覧

● アナログポート共通の機能

TEL1 ポート、TEL2 ポート共通の機能です。ポート番号は①を押します。設定手順（P136）を参考に、左から順に操作します。

● 設定した電話番号の消去方法

ハンドセットを取り上げる→*→*→*→ポート番号→機能番号→*→#→ハンドセットを置く。

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
50	三者通話 (P92)	 * * *	①	⑤ ①
51	通信中転送 (P97)	 * * *	①	⑤ ①
52	着信転送 (P129)	 * * *	①	⑤ ②
53	着信転送トーン設定 (P129)	 * * *	①	⑤ ③
54	着信転送先電話番号 (契約者回線番号用) (P129)	 * * *	①	⑤ ④
55	着信転送先電話番号 (ダイヤルイン / i・ナ ンバー用 1) (P129)	 * * *	①	⑤ ⑤
56	着信転送先電話番号 (ダイヤルイン / i・ナ ンバー用 2) (P129)	 * * *	①	⑤ ⑥



1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファクスのいろいろ
な使いかた

4
発信番号の
通知と表示

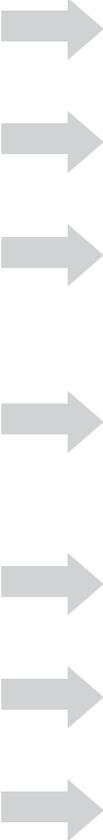
5
電話やファクスの
呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの
設定

※下線 は、お買い求め時の設定です。

区切り記号	設定値・設定内容	終了操作															
⊛	<u>①</u> ：使用しない ①：疑似三者通話 ②：三者通話	⊞ 															
⊛	<u>①</u> ：使用しない ①：使用する	⊞ 															
⊛	<u>①</u> ：使用しない ①：疑似着信転送 ②：着信転送	⊞ 															
⊛	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>転送トーク</th> <th>転送元トーク</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>①</u></td> <td>なし</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>①</td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> <tr> <td>②</td> <td>なし</td> <td>あり</td> </tr> <tr> <td>③</td> <td>あり</td> <td>あり</td> </tr> </tbody> </table>		転送トーク	転送元トーク	<u>①</u>	なし	なし	①	あり	なし	②	なし	あり	③	あり	あり	⊞ 
	転送トーク	転送元トーク															
<u>①</u>	なし	なし															
①	あり	なし															
②	なし	あり															
③	あり	あり															
⊛	転送先の電話番号（最大 32 桁）	⊞ 															
⊛	転送先の電話番号（最大 32 桁）	⊞ 															
⊛	転送先の電話番号（最大 32 桁）	⊞ 															



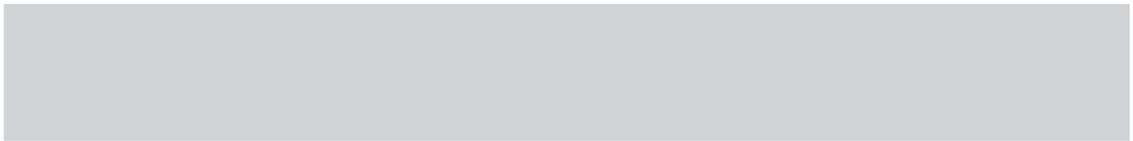
(次ページへ続きます)

7 電話機から の設定

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
57	着信転送元電話番号 (契約者回線番号用) (●P129)	 ***	0	5 7
58	着信転送元電話番号 (ダイヤルイン/i・ナ ンバー用1)(●P129)	 ***	0	5 8
59	着信転送元電話番号 (ダイヤルイン/i・ナ ンバー用2)(●P129)	 ***	0	5 9
61	モデムダイヤルイン用 契約者回線番号 (●P122)	 ***	0	6 1
62	優先着信ポート指定 (●P81)	 ***	0	6 2
64	内線機能 (●P79)	 ***	0	6 4
65	FAX 自動転送 (●P103)	 ***	0	6 5
66	非通知拒否 (●P91)	 ***	0	6 6
67	迷惑電話防止電話番号 (●P90)	 ***	0	6 7
72	話者切替タイマ (●P96、98)	 ***	0	7 2



区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	転送元の電話番号 (最大 32 桁) サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに ⊛、サブアドレス (最大 19 桁)	#
⊛	転送元の電話番号 (最大 32 桁) サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに ⊛、サブアドレス (最大 19 桁)	#
⊛	転送元の電話番号 (最大 32 桁) サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに ⊛、サブアドレス (最大 19 桁)	#
⊛	電話番号 (最大 20 桁)	#
⊛	①: 指定しない ①: TEL1 ポート ②: TEL2 ポート	#
⊛	①: 使用しない ①: 使用する	#
⊛	①: しない ①: する	#
⊛	①: する ①: しない	#
⊛	電話番号 (最大 32 桁)	#
⊛	② ~ ⑨: 話者切替までの時間 (2 ~ 9 秒) (お買い求め時: 4 秒)	#

1 すぐに使えます

2 な使用のいろいろ

3 いろいろな使用のいろいろ

4 発信者番号の通知と表示

5 の呼び分け

6 メッセージ録音

7 電話機からの設定

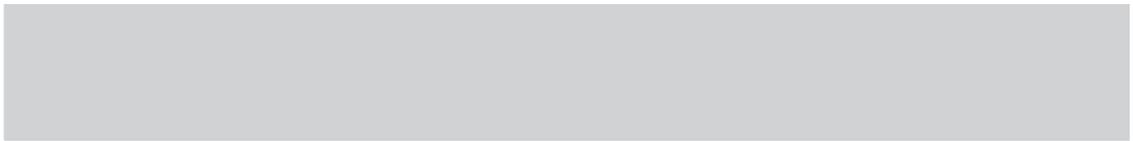
(次ページへ続きます)

7 電話機から の設定

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
73	フッキング検出タイム (☛P79)	 ***	①	⑦③
74	ダイヤル桁間タイム (☛P75)	 ***	①	⑦④
75	ダイヤル終了識別 (☛P75)	 ***	①	⑦⑤
76	MSG ランプ設定 (Lモード関連) (☛P99、101)	 ***	①	⑦⑥
81	RVS-COM 転送 (☛「参考情報」)	 ***	①	⑧①
82	RVS-COM への移行時間 (☛「参考情報」)	 ***	①	⑧②



区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①：短い (100 ~ 500 ms) ②：普通 (300 ~ 1000 ms) ③：長い (500 ~ 1500 ms)	# 
⊛	① ② ~ ① ⑤：ダイヤル桁間の空き時間 (2 ~ 15 秒) (お買い求め時：4 秒)	# 
⊛	①：識別しない ②：# で識別する ③：# # で識別する	# 
⊛	①：メッセージあり状態表示をしない ②：メッセージあり状態表示をする	# 
⊛	①：アナログ機器の操作で転送 / 指定時間後に自動転送 ②：ただちに自動転送	# 
⊛	① ①：無応答時は転送しない (アナログ機器の操作で転送) ② ①：5 秒 ③ ②：10 秒 ④ ③：15 秒 ⑤ ④：20 秒 ⑥ ⑤：25 秒 ⑦ ⑥：30 秒 ⑧ ⑦：35 秒 ⑨ ⑧：40 秒 ⑩ ⑨：45 秒 ⑪ ⑩：50 秒 ⑫ ⑪：55 秒 ⑬ ⑫：60 秒 ⑭ ⑬：75 秒 ⑮ ⑭：90 秒 ⑯ ⑮：105 秒 ⑰ ⑯：120 秒	# 

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

4
発信者番号の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送 / メッセージ録音

7
電話機からの設定

(次ページへ続きます)

7 電話機から の設定

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
83	i・ナンバー (☛P116、120)	 * * *	①	⑧ ③
84	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報 1 (☛P116、120)	 * * *	①	⑧ ④
85	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報 2 (☛P116、120)	 * * *	①	⑧ ⑤
86	i・ナンバー電話番号 i・ナンバー情報 3 (☛P116、120)	 * * *	①	⑧ ⑥
999	リセット処理 (お買い求め時の設定) に戻す (☛P166)	 * * *	①	⑨ ⑨ ⑨

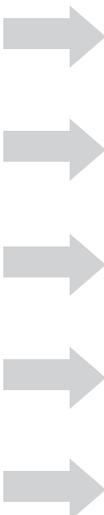
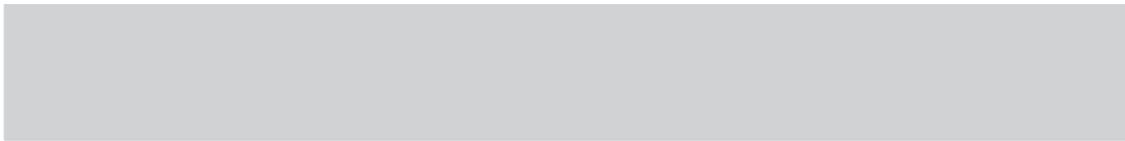
● アナログポート個別の機能

TEL1 ポート、TEL2 ポートごとに設定が必要です。

TEL1 ポートの設定→ポート番号①を押す

TEL2 ポートの設定→ポート番号②を押す

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
01	接続機器設定 (☛P125)	 * * *	① または ②	① ①
02	キャッチホン (☛P82、89、111)	 * * *	① または ②	① ②
03	グローバル着信 (☛P118)	 * * *	① または ②	① ③



区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①: <u>使用しない</u> ②: 使用する	# 
⊛	i-ナンバー情報 1 に対応した電話番号 (最大 20 桁)	# 
⊛	i-ナンバー情報 2 に対応した電話番号 (最大 20 桁)	# 
⊛	i-ナンバー情報 3 に対応した電話番号 (最大 20 桁)	# 
⊛	③ ③: すべての設定値をお買い求め時に戻す	# 

1
すぐに使えます

2
電話のいろいろな使いかた

3
ファックスのいろいろな使いかた

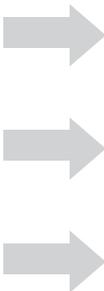
4
発信番号表示の通知と表示

5
電話やファックスの呼び分け

6
転送/メッセージ録音

7
電話機からの設定

※下線___は、お買い求め時の設定です。



区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①: 電話機 ②: <u>ファクス付き電話機・モデム・Lモード対応電話機</u>	# 
⊛	③: <u>使用しない</u> ④: 疑似キャッチホン ⑤: INS キャッチホン	# 
⊛	⑥: <u>着信する</u> ⑦: 着信しない	# 

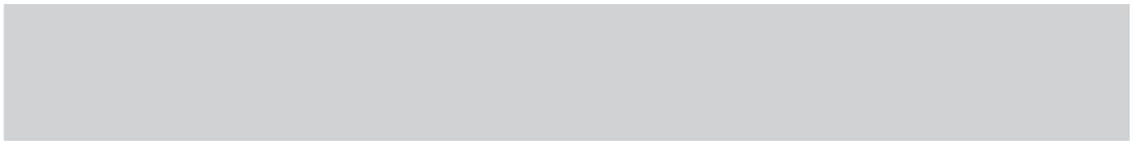
(次ページへ続きます)

7 電話機から の設定

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
04	サブアドレスなし着信 (●P124)	 * * *	① または ②	① ④
05	INS なりわけ (●P86)	 * * *	① または ②	① ⑤
06	疑似なりわけ (●P87)	 * * *	① または ②	① ⑥
07	なりわけ動作設定 (●P86、87)	 * * *	① または ②	① ⑦
08	アナログポート接続設定 (●P31、75、76)	 * * *	① または ②	① ⑧
09	メッセージあり情報通知 (L モード関連) (●P99、101)	 * * *	① または ②	① ⑨
10	ナンバー・ディスプレイ発信者番号通知 (●P108、111、112)	 * * *	① または ②	① ⑩
11	ナンバー・ディスプレイ発サブアドレス付加設定 (●P109)	 * * *	① または ②	① ⑪
12	モデムダイヤルイン着信電話番号通知 (●P120、122)	 * * *	① または ②	① ⑫
13	モデムダイヤルイン着信サブアドレス付加設定 (●P123)	 * * *	① または ②	① ⑬



区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①: 着信する ②: 着信しない	#
⊛	①: 使用しない ②: 使用する	#
⊛	①: 使用しない ②: 使用する	#
⊛	①: 識別リング ②: セキュリティ (着信拒否)	#
⊛	①: アナログ通信機器を接続しない ②: アナログ通信機器を接続する	#
⊛	①: しない ②: する	#
⊛	①: しない ②: する	#
⊛	①: しない ②: する	#
⊛	①: しない ②: する	#
⊛	①: しない ②: する	#

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

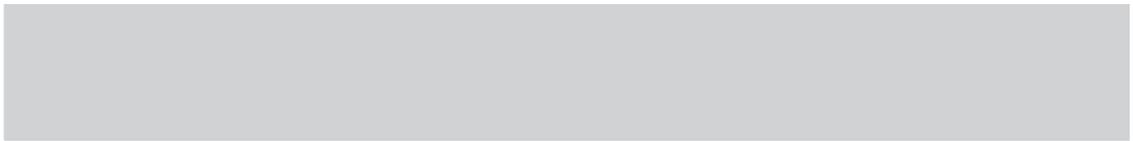
(次ページへ続きます)

7 電話機から の設定

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
15	内線呼出信号設定 (●P79)	 ***	① または ②	① ⑤
16	着信拒否 (●P76)	 ***	① または ②	① ⑥
17	受話音量調整 (●P75)	 ***	① または ②	① ⑦
18	ダイヤル種別 (●P31、75)	 ***	① または ②	① ⑧
20	発信者番号 (●P99、101、106)	 ***	① または ②	② ⑩
21	発信者番号通知 (●P106)	 ***	① または ②	② ①
22	発信規制 (●P75)	 ***	① または ②	② ②
23	発信ポート番号指定 (●P120)	 ***	① または ②	② ③



区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①：呼出信号 1「ブルブル、ブルブル…」 ②：呼出信号 2「ブルブル、ブルブル…」	#
⊛	①：する ②：しない	#
⊛	①：小 ②：中 ③：大	#
⊛	①：PB 固定 ②：DP 固定	#
⊛	電話番号 (最大 32 桁)	#
⊛	①：通知しない ②：通知する ③：INS ネット 64 申込内容に従う	#
⊛	①：規制しない ②：0 発信規制 ③：外線発信規制	#
⊛	①：i・ナンバー情報 1 (TEL1 ポートのお買い求め時の設定) ②：i・ナンバー情報 2 (TEL2 ポートのお買い求め時の設定) ③：i・ナンバー情報 3	#

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送/メッセージ録音

7 電話機からの設定

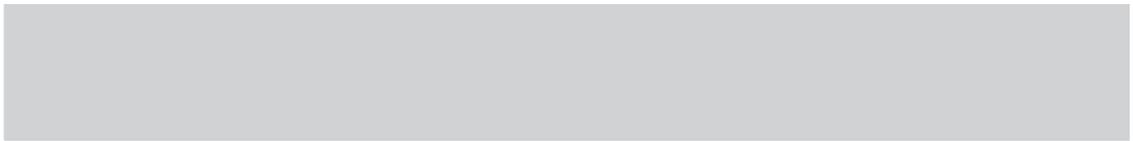
(次ページへ続きます)

7 電話機から の設定

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
24	i・ナンバー着信設定 (●P116、120)	 * * *	① または ②	② ④
25	キャッチホン・ディスプレイ発信者番号通知 (●P111)	 * * *	① または ②	② ⑤
26	キャッチホン・ディスプレイ発サブアドレス付加設定 (●P111)	 * * *	① または ②	② ⑥
29	FAX 無鳴動着信 (●P105)	 * * *	① または ②	② ⑨
30 ~ 37	着信する番号 (0 ~ 7) (●P118)	 * * *	① または ②	③ ⑩ ~ ③ ⑦
38	サブアドレス (●P124)	 * * *	① または ②	③ ⑧
39	HLC 設定 (●P125)	 * * *	① または ②	③ ⑨



区切り記号	設定値・設定内容			終了操作	
*		i・ナンバー 情報 1	i・ナンバー 情報 2	i・ナンバー 情報 3	○=着信可 × =着信不可 # 
	①	×	×	×	
	②	○	×	×	
	③	×	○	×	
	④	○	○	×	
	⑤	×	×	○	
	⑥	○	×	○	
	⑦	×	○	○	
お買い求め時の設定 TEL1 ポート：① TEL2 ポート：②					
*	①：しない ②：する				# 
*	①：しない ②：する				# 
*	①：しない ②：する				# 
*	電話番号 (最大 32 桁)				# 
*	サブアドレス (最大 19 桁)				# 
*	①：しない ②：する				# 



1
すぐに使えます

2
電話のいろいろ
な使いかた

3
ファクスのいろいろ
な使いかた

4
発信者番号の
通知と表示

5
電話やファクスの
呼び分け

6
転送/
メッセージ録音

7
電話機からの
設定

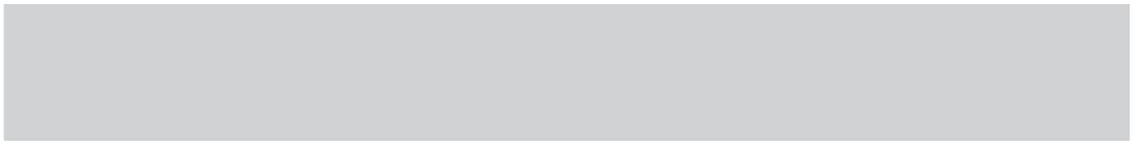
(次ページへ続きます)

7 電話機から の設定

電話機から機能を設定するには

(前ページの続きです)

機能番号	機能	開始操作	ポート番号	機能番号
88	ネーム・ディスプレイ 発信者名通知 (●P112)	 * * *	① または ②	⑧ ⑧
90 ~ 99	疑似なりわけ番号(0~9) (●P88)	 * * *	① または ②	⑨ ⑩ ~ ⑨ ⑨



区切り記号	設定値・設定内容	終了操作
⊛	①：しない ②：する	⊞ 
⊛	電話番号（最大 32 桁） サブアドレスを付ける場合は、電話番号のあとに ⊛、サブアドレス（最大 19 桁）	⊞ 

1 すぐに使えます

2 電話のいろいろな使いかた

3 ファックスのいろいろな使いかた

4 発信者番号の通知と表示

5 電話やファックスの呼び分け

6 転送 / メッセージ録音

7 電話機からの設定

